



IT/MT/FT×OPEN INNOVATION

株式会社デジタルガレージ

2017年3月期 第2四半期 決算説明会

2017.2.10

 **Digital Garage**

目次

ミッション&ビジネスモデル	3
インベストメント・ハイライト	7
業績レビュー	13
事業セグメント別レビュー	17
Appendix	33

ミッション & ビジネスモデル





**Real & Cyber
Local & International
Marketing & Technology
Present & Future**

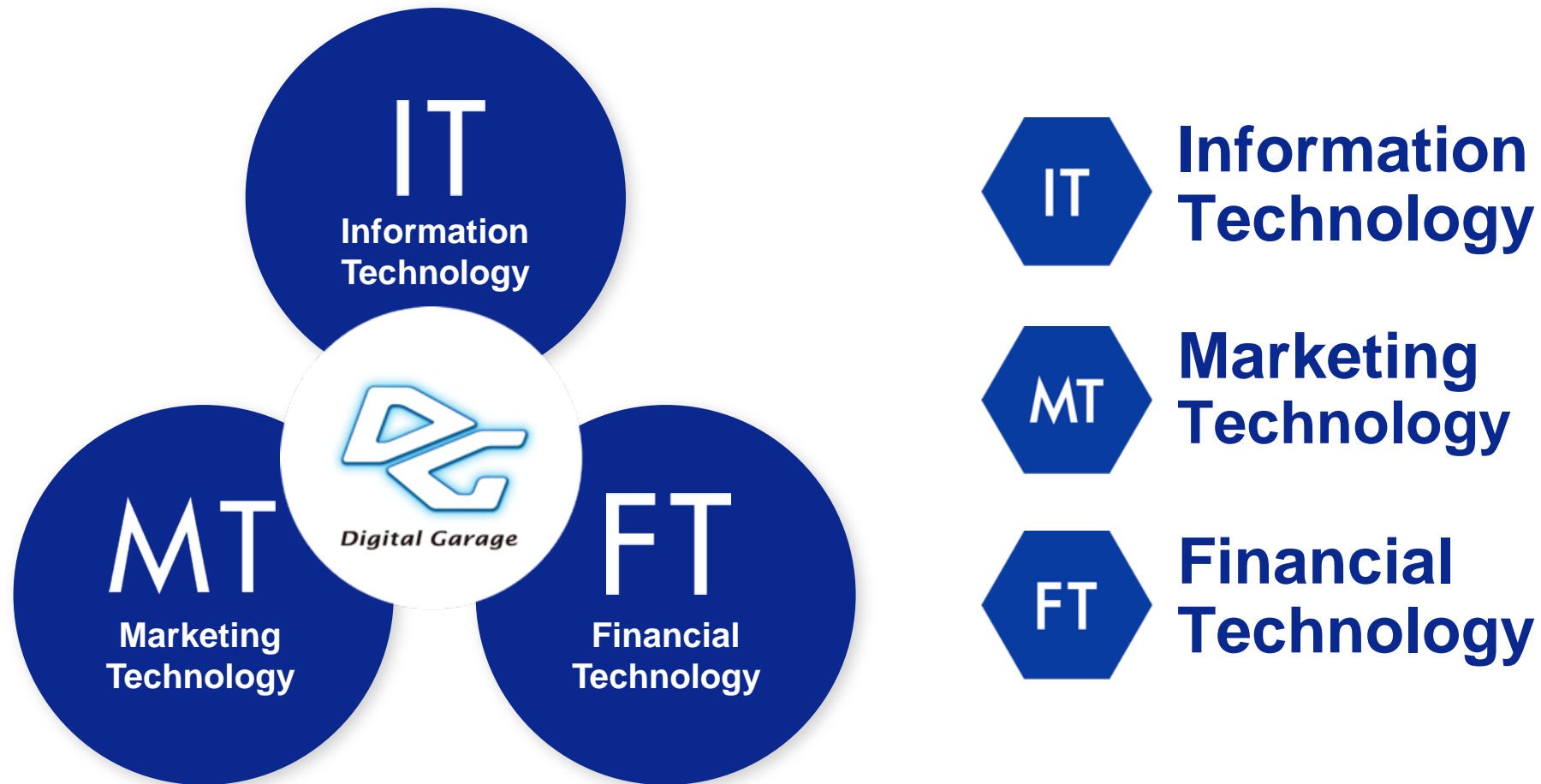
を結ぶ

Context Company

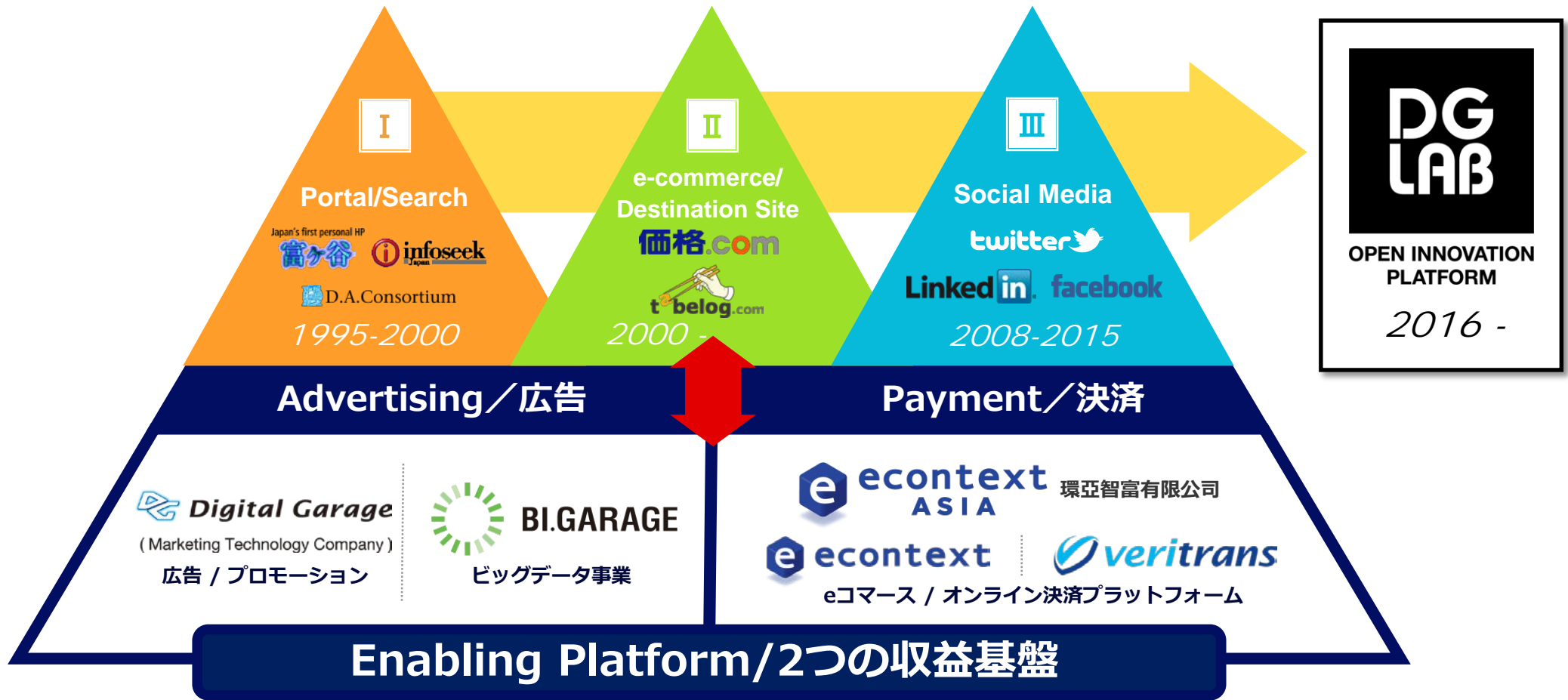
として

インターネット時代における
新しい生活・社会・産業への
ビジネスソリューション提供

インターネットビジネスを IT/MT/FT の
3つのコア機能を駆使し、プロデュース/インキュベート



独自のEnabling Platformを活用し、黎明期よりDGは
日本を代表するインキュベーション事業を創造



インベストメント・ハイライト



2017.3期2Q累計の税引前利益は、前年同期比68%増の47億円

～ 決算期変更による9ヶ月変則決算、年間進捗率66% ～

I IT：大型Exitで大幅増益、グローバルな投資エコシステムを推進

- 買収に伴う出資先(インド決済大手Citrus)の保有株式売却で税引前利益は前年同期比**72%増の14億円**
- **トヨタ自動車**と協業し、オープンイノベーションプログラム「**TOYOTA NEXT**」を開始
- 次世代技術を有するスタートアップ企業を対象とした「**DG Lab Fund**」を組成。「**DG Lab**」と連携し、オープンイノベーションを推進

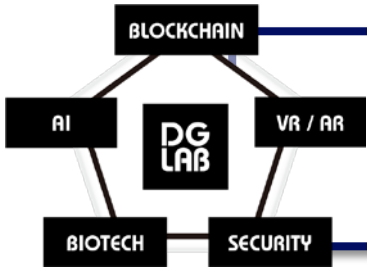
II MT：スマホ向け広告の好調続き、戦略的データサイエンス事業を推進

- 売上高は前年同期比**45%増の133億円**、税引前利益は同**40%増の7.8億円**と大幅増収増益
- パフォーマンスアドにおいて、スマホ領域の拡大に加え、金融やコスメ等のPC領域も大きく伸長
- ビッグデータを活用した広告商品「**BIG MINING**」がTwitterと連携開始。**データサイエンス事業**を推進

III FT：決済の収益基盤が拡大、次世代FinTech領域の取組みを推進

- 半期の決済取扱高が初めて**6,500億円**を突破。前年同期比**16%増収**、税引前利益同**7%増益**
- **Apple Pay**への対応開始。**Alipay**、**Line Pay**に続き、大手プラットフォームとの提携本格化
- **ANAグループ**との合併で「**ANA Digital Gate**」を設立。決済マーケティングの共同事業を推進

※当社は、セグメント会計基準に準拠し、マネジメント・アプローチとして業績評価を税引前利益で行っており、セグメント利益においても税引前利益としています。



DG Labへの協賛/参画企業や同ファンドへの出資も順調に増加。次世代を見据えるオープンイノベーションプラットフォームで、新たな事業を生み出す研究開発プロジェクトを推進

BLOCK CHAIN

世界的ブロックチェーン開発者を一堂に会したワークショップ「Blockchain Core Camp」(BC²)を実施



Thaddeus Dryja 氏

Blockchain Layer2技術として注目を集めるLightning Networkの開発者



Nicolas Dorier 氏

C#版のビットコインであるNBitcoinの開発者、現在注目を集めるTumbleBitのC#版「NTumbleBit」の開発者



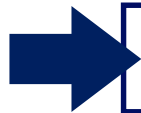
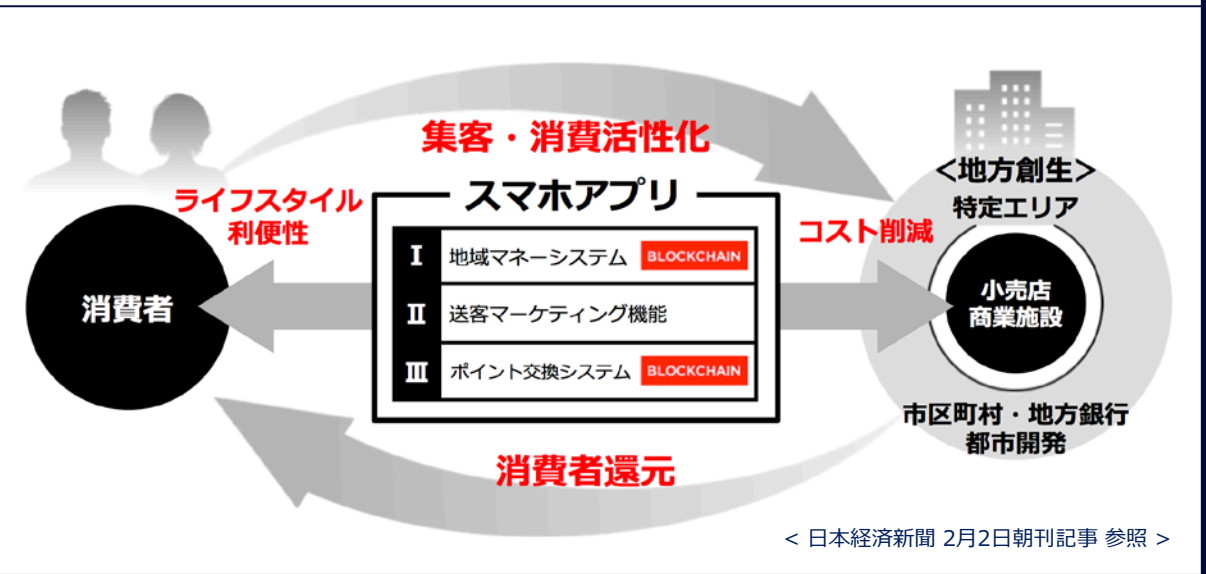
Jeremy Rubin 氏

マサチューセッツ工科大学 Digital Currency Initiativeのファウンダー

BLOCK CHAIN

ブロックチェーン技術を活用した研究開発プロジェクトを推進

ブロックチェーン技術を手掛けるBlockstream社と次世代プラットフォーム技術の共同開発で基本合意
 主なプロジェクト：「地域マネー」 「ポイント交換」 「スマートコントラクト」



DGLAB FUND

ファンドからの投資案件スタート (AI、BIO関連企業)



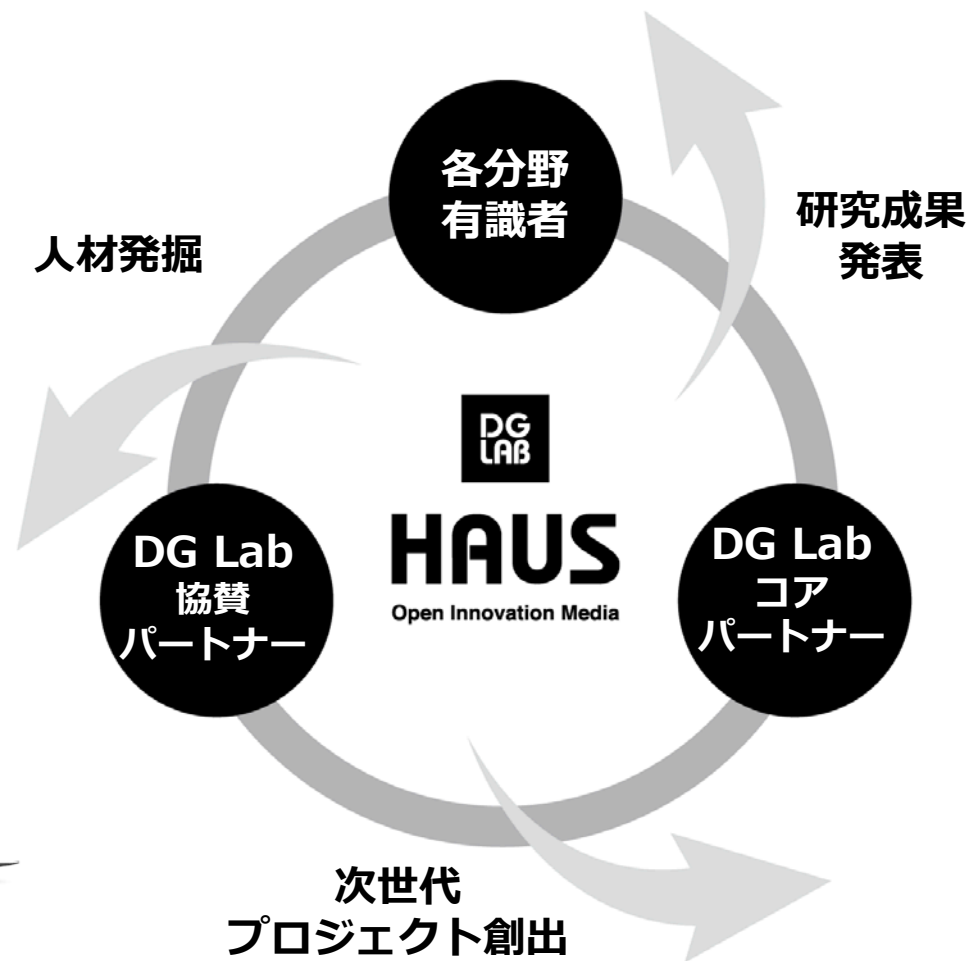
DG Labの注力分野において、世界中のオープンイノベーションの現場で生まれるニュースや業界のリーダー達が語る未来を発信

オープンイノベーションの現場で生まれる最先端テクノロジーやニュース、業界のリーダー達が語る未来を、「ブロックチェーン」「VR/AR」「人工知能」「セキュリティ」「バイオテクノロジー」の5つの視点から発信する情報メディア

テクノロジーが我々の生活に果たす役割について自由に意見を交換する「場」に育てたいとの思いから「Haus」(ドイツ語で家を意味)とネーミング



<http://media.dglab.com/>



トヨタ自動車と協業し、オープンイノベーションプログラム「TOYOTA NEXT」の運営を支援
～ 未来のモビリティ社会の創造に向けて、トヨタと共創するサービスのアイデアを公募 ～

TOYOTA ×  **Digital Garage**



TOYOTA

NEXT

革新的なテクノロジーやサービスを持つ企業やベンチャー・研究機関と、トヨタが持つアセットを組み合わせることで、未来のモビリティ社会を創造する取組み

「TOYOTA NEXT」公式HP <https://toyotanext.jp>

 **Digital Garage**

デジタルガレージ

国内外スタートアップ企業への投資・育成に関するノウハウを提供し、プログラムの運営を支援



Inamoto & Co.

クリエイティブ統括

ANAグループとの合併で、FinTechを活用した決済ソリューション会社「ANA Digital Gate」を設立
～ ANAグループの営業ネットワークとDGグループの最新IT技術を融合 ～

ANA 全日空商事 ×  **Digital Garage**



<中長期>

DG Labと連携し、Blockchainを活用した地域マネーや、AIを活用したカスタマーサポートや対話型サービスなどの次世代ビジネスの創造と地域経済の活性化

<Next Step>

AMC（マイレージ）会員3,000万人の送客、そのIDを活用した決済・顧客データを活用した、データサイエンスによるマイレージ会員活性化

<今期トピック>

ANAリテール、空港、観光商業施設等に対し、インバウンドリーチを含めてモバイル決済を展開



ANA Digital Gate株式会社

全日空商事 51% ベリトランス 49%



OPEN INNOVATION
PLATFORM

業績レビュー



売上高は前年同期比20%増収、税引前利益は同68%増の47億円を達成

～ 出資先の保有株式売却で特別利益を計上、税引前利益進捗率は66% ～

単位：百万円	2016.6期	2017.3期	前年同期比		2017.3期	
	2Q (実績)	2Q (実績)	(比率%)	(金額)	9ヶ月 (予想)	2Q 進捗率
売上高	19,843	23,817	+20.0	+3,973	37,500	64%
営業利益	1,626	906	-44.3	-720		
営業外収益	1,372	2,628	+91.4	+1,255		
持分法投資利益	1,060	1,935	+82.5	+874		
為替差益	-	274	-	+274		
営業外費用	304	210	-30.8	-93		
為替差損	112	-	-	-112		
経常利益	2,694	3,323	+23.3	+628		
特別利益	117	1,400	11.9 倍	+1,283		
投資有価証券売却益	-	1,368	-	+1,368		
税金等調整前当期純利益	2,802	4,710	+68.1	+1,908	7,100	66%
法人税等	1,004	1,004	-0.0	-0		
親会社株主に帰属する当期純利益	1,796	3,701	2.1 倍	+1,904	5,300	70%

Note: 決算期変更に伴う変則決算により、前年比較は以下の通り、2016.6期 2Q累計と2017.3期 2Q累計の単純比較としております
 決算期変更前から3月決算の会社 : 2016.6期 2Q累計 (4- 9月) と 2017.3期 2Q累計 (4-12月)の比較
 3月決算に変更した会社 : 2016.6期 2Q累計 (7-12月) と 2017.3期 2Q累計 (7-12月)の比較

全事業セグメントとも増益確保、MTは前年同期比約40%超の大幅増収増益

～ 変則決算による主な影響はMI、実質ベースでもカカクコム持分法投資利益が拡大 ～

単位：百万円	2016.6期	2017.3期	前年同期比		2017.3期	
	2Q (実績)	2Q (実績)	(比率%)	(金額)	9ヶ月 (予想)	2Q 進捗率
売上高	19,843	23,817	+20.0	+3,973	37,500	64%
IT インキュベーションテクノロジー	2,557	1,093	-57.2	-1,464	6,500	17%
MT マーケティングテクノロジー	9,232	13,394	+45.1	+4,161	17,500	77%
FT フィナンシャルテクノロジー	8,052	9,329	+15.9	+1,276	13,500	69%
MI メディアインキュベーション	-	-	-	-	-	-
税金等調整前当期純利益	2,802	4,710	+68.1	+1,908	7,100	66%
IT インキュベーションテクノロジー	849	1,460	+72.0	+611	2,500	58%
MT マーケティングテクノロジー	560	784	+39.9	+223	1,100	71%
FT フィナンシャルテクノロジー	867	931	+7.4	+64	1,500	62%
MI メディアインキュベーション	1,194	1,983	+66.0	+788	2,900	68%

Note: セグメント税金等調整前当期純利益は、セグメント間取引消去及び全社費用等控除前

(単位：百万円)	2016.6期末	2017.3期 2Q末	前期末比 (金額)	主たる変動要因/備考
流動資産	48,324	65,146	+16,821	
現預金	15,703	25,794	+10,090	決済事業関連項目、新規借入、株式売却収入、法人税と配当金の支払等
未収入金	13,946	16,173	+2,226	決済事業関連科目
金銭の信託	2,592	4,898	+2,305	決済事業関連科目
営業投資有価証券	11,164	12,699	+1,534	新規投資、時価評価等
固定資産	29,011	32,052	+3,040	
投資有価証券	14,844	18,049	+3,205	新規投資、持分法投資利益取込、株式売却等
のれん	5,765	5,529	-235	
資産合計	77,335	97,198	+19,862	
流動負債	30,187	47,748	+17,561	
預り金	21,876	33,051	+11,174	決済事業関連科目
短期借入金	3,200	8,404	+5,203	長期借入金からの振替、運転資金需要
固定負債	16,484	15,364	-1,120	
長期借入金	15,370	14,330	-1,039	1年内返済予定の長期借入金の流動負債への振替
負債合計	46,671	63,112	+16,441	
純資産	30,664	34,085	+3,421	
株主資本	28,610	31,044	+2,434	
資本金	7,435	7,437	+1	
資本剰余金	2,825	2,946	+121	
利益剰余金	18,419	20,711	+2,291	
その他の包括利益累計額	1,502	2,312	+810	
有価証券評価差額金	138	896	+757	
負債・純資産合計	77,335	97,198	+19,862	

【資産効率 / 資本効率を意識した財務戦略を推進】

事業セグメント別レビュー



I インキュベーションテクノロジーセグメント

		売上高	税引前利益
2016年6月期	2Q累計実績	2,557 百万円	849 百万円
2017年3月期	2Q累計実績	1,093 百万円	1,460 百万円
2017年3月期	計画	6,500 百万円	2,500 百万円

▶ **株式会社DGインキュベーション**

ベンチャー企業等への投資およびインキュベーション事業



▶ **株式会社 Open Network Lab**

シードアクセラレータープログラムの第14期を実施中



▶ **Digital Garage US, Inc.**

米国を拠点としたグローバル戦略のヘッドクォーター



▶ **株式会社DK Gate** (出資比率66%)

講談社と次世代コンテンツに関わる領域をグローバルに投資育成



▶ **株式会社DG Technologies** (出資比率80%)

DG Labと連携し、戦略的な技術開発を推進



▶ **株式会社DG Daiwa Ventures** (出資比率50%/持分法適用会社)

次世代技術を有するスタートアップ企業を対象としたファンド「DG Lab Fund」を運営



▶ **Kodansha Advanced Media LLC** (出資比率19%/出資先)

米国・英語圏のデジタル配信におけるマーケティング、配信・映画化とイベント等の企画実行など

過去3カ年でROI 2倍を実現

安定的に年平均25億円の利益を創出するポートフォリオを構築

DGインキュベーションの業績推移

(単位：億円)

	前中期計画			現行中期計画	4期平均	
	13.6期	14.6期	15.6期	16.6期		
売上高	16	39	55	46	39	
税前利益	9	22	42	28	25	利益率 64%
投資額	10	34	31	50	31	
投資残高	29	86	90	111		

- 前中計の目指すもの：年平均25億円程度の利益を創出できるポートフォリオを構築
過去3カ年でROI 2倍を実現 (13.6期 - 15.6期)
- 現中計の目指すもの：ROI 2倍超と新たなインキュベーションモデル

セグメント税前利益

14 億円

前年同期比 **+72%**

ポートフォリオの状況

	社数	投資残高
株式	121	120 億円
国内	38	21 億円
海外	83	99 億円
ファンド	6	7 億円
計	127	128 億円

注) DGインキュベーションの投資残高
 上場銘柄は期末時価による評価額
 株式は転換権付融資含む
 残高合計は単位未満切捨てのため一致しない場合があります

主要なポートフォリオ

Blockstream [米・加]



ビットコインのコア開発者を中心に設立。ブロックチェーンの多目的な応用を容易にするプラットフォーム技術「サイドチェーン」を開発

Increments [日本]



プログラマのための技術情報共有サービス「Qiita」を企画・開発・運営

Droom [インド]



インド最大の自動車売買オンラインマーケットプレイス「Droom」を運営

ウェルビー [日本]



慢性疾患、糖尿病、ガン患者向けのアプリを提供

Wevr

Wevr [米国]

バーチャルリアリティーの制作者や利用者向けの革新的なオープンネットワークである、「Wevr Transport™」を開発・運営

グッドパッチ [日本]



スマートフォン及びPC向けのホームページの受託開発やコンサルティングを手掛ける



Estimote [米国]

センサーの製造/販売と屋内位置情報テクノロジーソフトウェアにより、ビーコン・ソリューションを提供

モンスター・ラボ [日本]

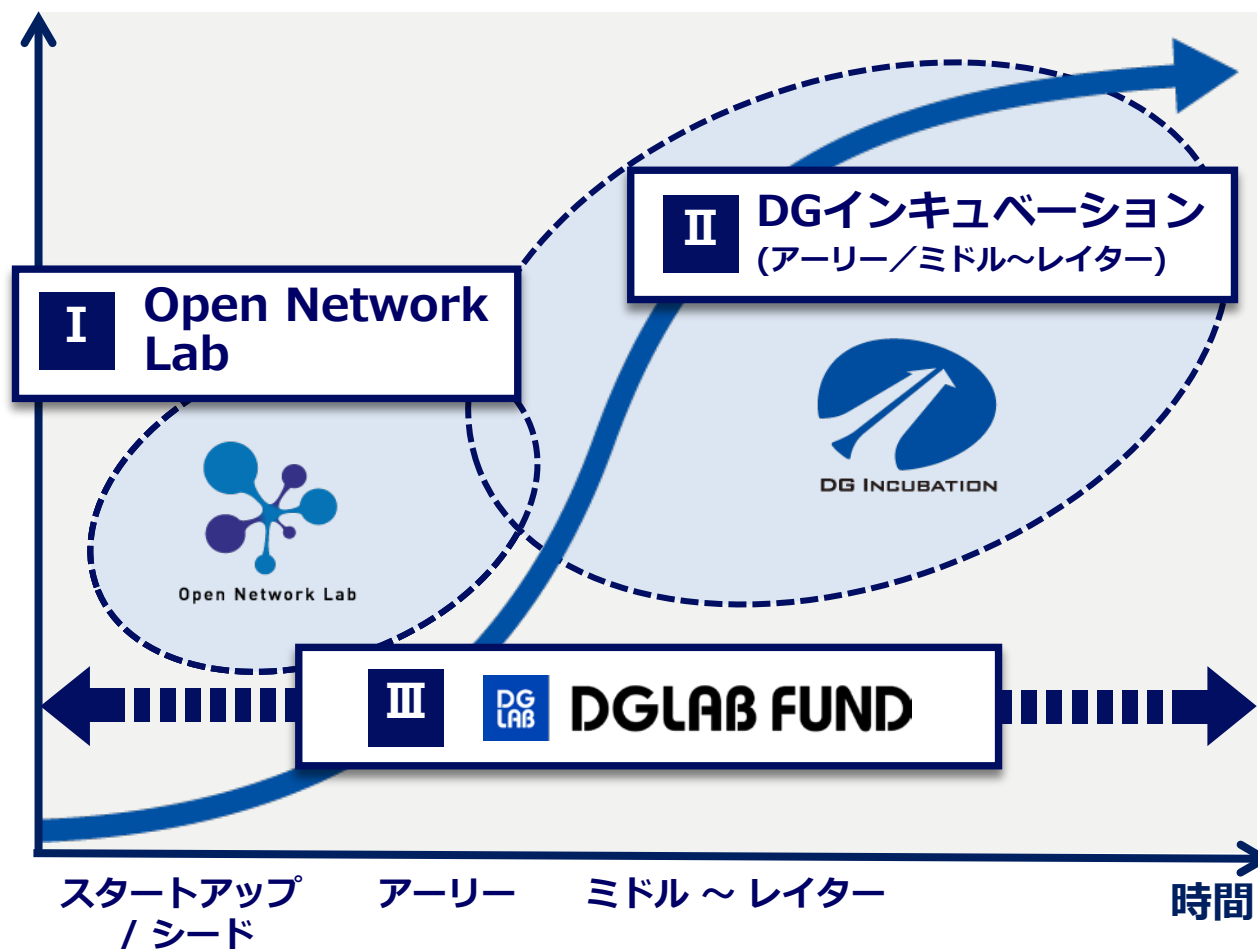


世界15カ国約1万名のエンジニアに開発を依頼できるグローバルソーシングプラットフォーム「セカイラボ」を運営



**ONL / DGIにDG Labファンドを加え、出資規模と投資分野の両方を拡大
立体的で網羅性のある新しいインキュベーションモデルを構築**

企業価値



➔ 現行中期経営計画の実践

- ✓ DGIの安定した投資Exit
- ✓ 目標ROI 2倍超

➔ 中長期的な次世代サービスの構築

- ✓ DG Lab / DG Lab Fundとの連携

【 新しいインキュベーションモデル
純投資から事業投資 / 連結化 】

II マーケティングテクノロジーセグメント

	売上高	税引前利益
2016年6月期 2Q累計実績	9,232 百万円	560 百万円
2017年3月期 2Q累計実績	13,394 百万円	784 百万円
2017年3月期 計画	17,500 百万円	1,100 百万円

- ▶ **マーケティングテクノロジーカンパニー**
パフォーマンスアド、O2O、Webマーケティングを提供



- ▶ **ビジネスデザインカンパニー**
コンサル型マーケティングを提供



- ▶ **株式会社 BI.Garage**
データサイエンス事業、ソーシャルマーケティング、最先端アドテクを提供



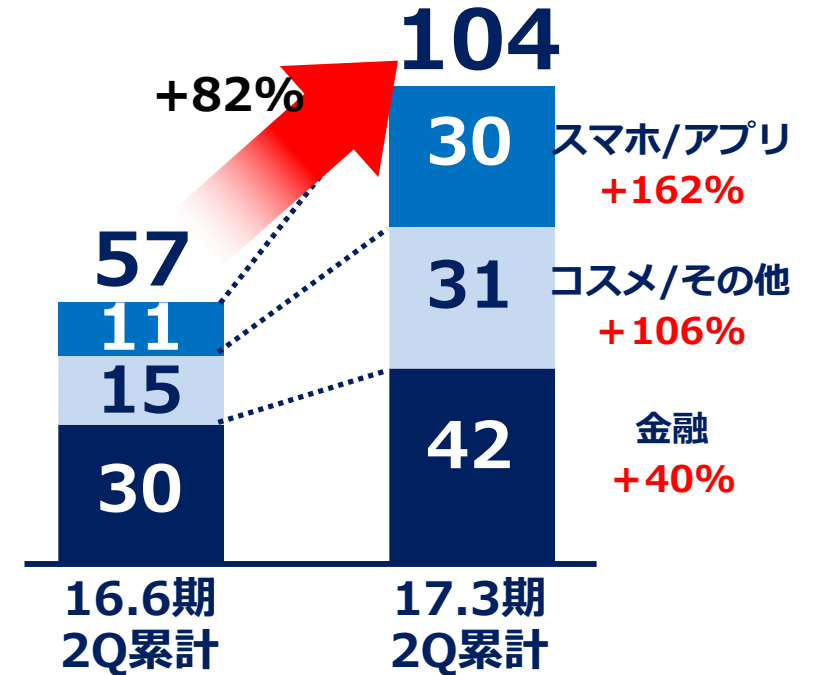
- ▶ **ナビプラス株式会社**
ベリトランス子会社、ECサイト内レコメンドエンジンを提供



広告取扱高にあたる売上高は前年同期比45%の成長
オペレーティングマージンは4.3ポイント改善

(単位：億円)	16.6期 2Q累計	17.3期 2Q累計
売上高 (前期比)	92.3 (+19%)	133.9 (+45%)
売上総利益 (前期比)	17.7 (+15%)	22.2 (+26%)
営業利益 (前期比)	5.6 (+8%)	8.1 (+43%)
オペレーティング ・マージン ※	32.1%	36.4%

【パフォーマンスアド売上】

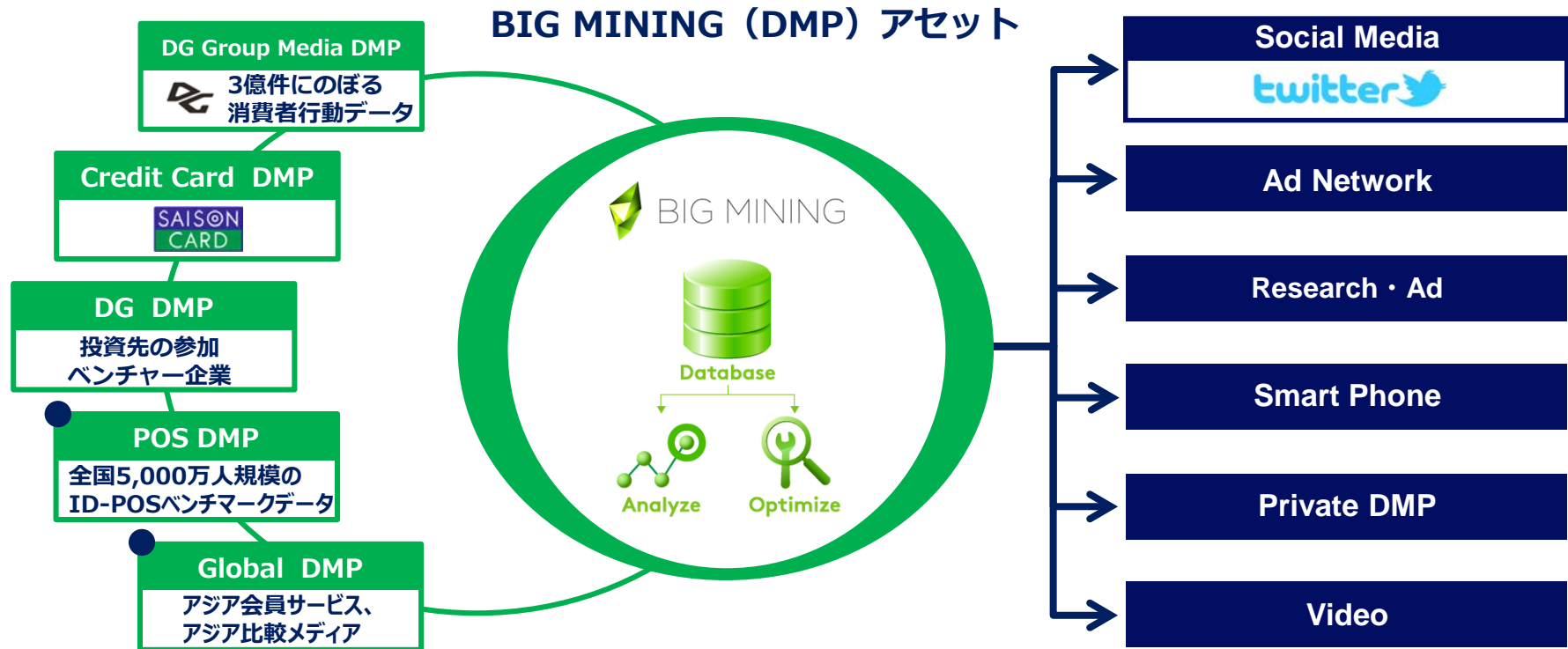


- 広告取扱高(売上高) ⇒ パフォーマンスアド(前年同期比+82%)が牽引
- オペレーティング・マージン ⇒ 新規事業領域の人員増を吸収し、4.3ポイント改善

※オペレーティング・マージン：営業利益÷売上総利益×100

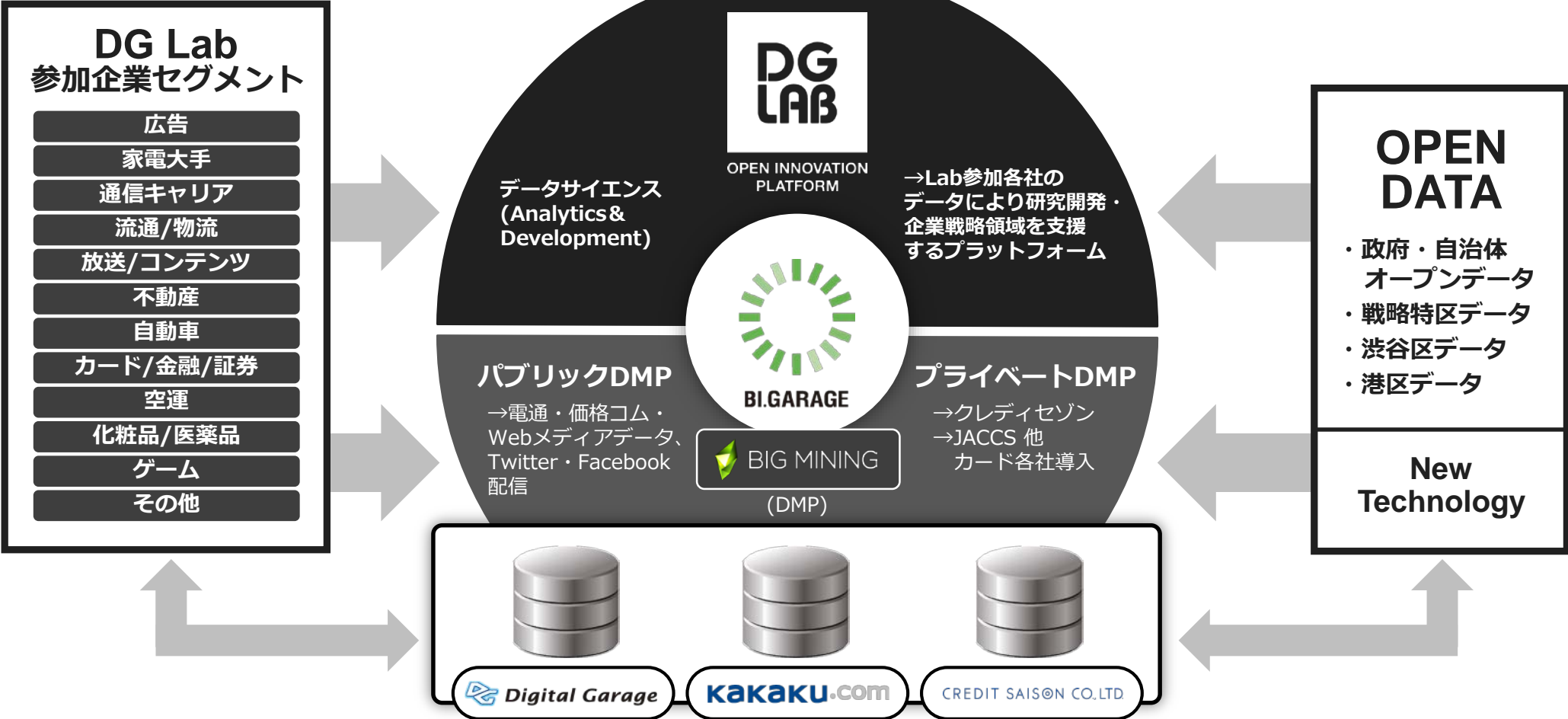
BI.GarageのDMP「BIG MINING」、クレディセゾンDMPに続き Twitterと連携を開始

- 商品の閲覧ログなど、約3億件にのぼる独自のオーディエンスデータと連携し、企業の様々なニーズに沿った分析やマーケティング施策を支援
- Twitterの「Targeting API」との連携により、DGグループのデータを活用したより精緻なターゲティング広告の配信が可能



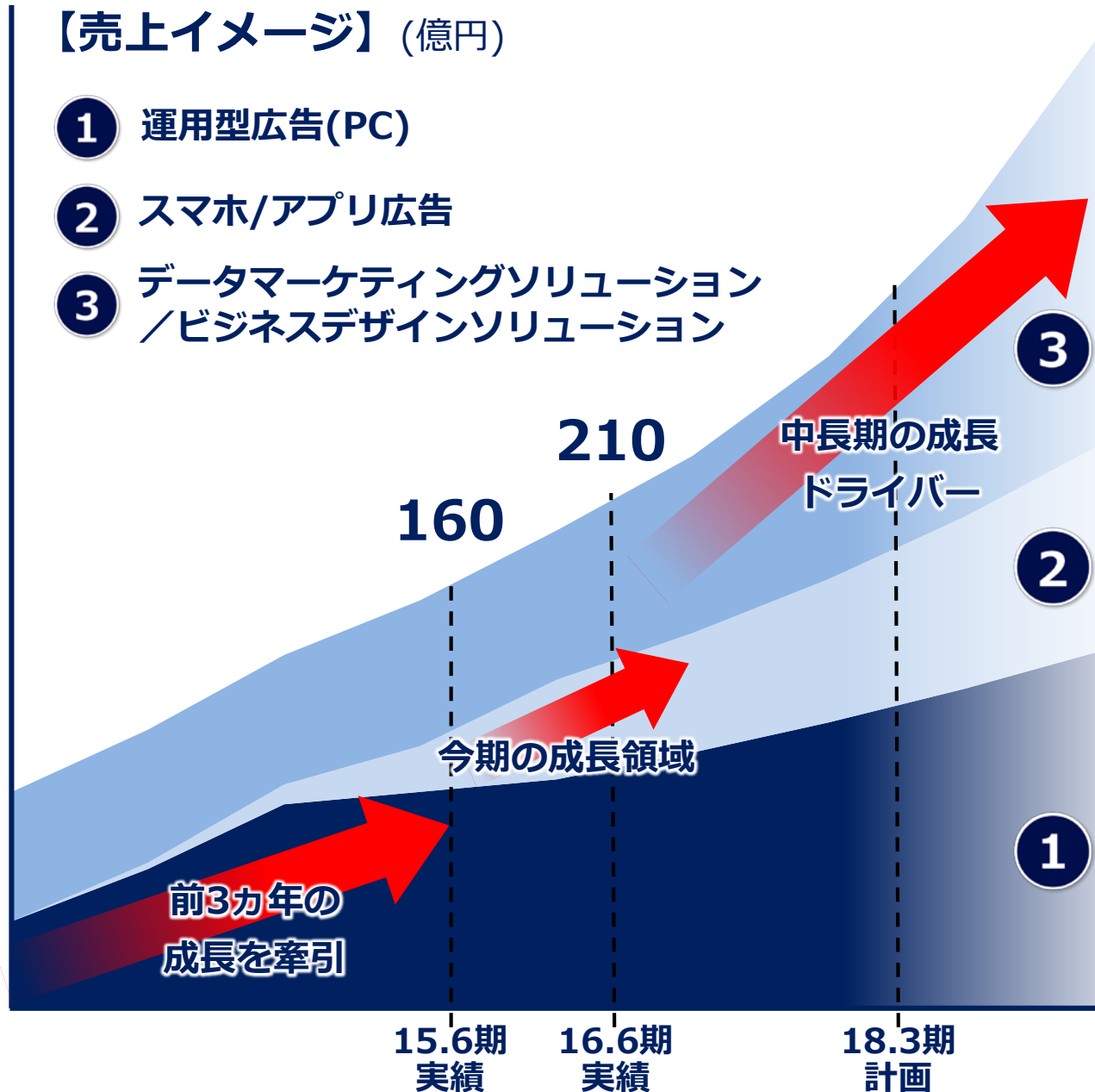
● 調整 / 検討中

DG Labと連携したデータサイエンス事業のオーバービュー



【売上イメージ】 (億円)

- ① 運用型広告(PC)
- ② スマホ/アプリ広告
- ③ データマーケティングソリューション
/ ビジネスデザインソリューション



今後の戦略

- ③ 【データマーケティングソリューション】
 - ✓ ビッグデータを活用した次世代マーケティングソリューションで成長加速
 【ビジネスデザインソリューション】
 - ✓ トップレベルのクリエイティブラボと連携し、世界最高レベルのUI/UXを通じた高品質なコミュニケーションデザインを提供

CAGR : +30%
- ② 【スマホ/アプリ広告】
 - ✓ 国内で蓄積したノウハウを活かし、Global展開を推進

CAGR : +20%
- ① 【運用型広告(PC)】
 - ✓ 金融、コスメ、人材に続く他業界への展開
 - ✓ ソーシャルメディア広告を中心に、広告手法の多角化を進める

CAGR : +15%

※ CAGR : 年平均成長率

Ⅲ フィナンシャルテクノロジーセグメント

	売上高	税引前利益
2016年6月期 2Q累計実績	8,052 百万円	867 百万円
2017年3月期 2Q累計実績	9,329 百万円	931 百万円
2017年3月期 計画	13,500 百万円	1,500 百万円

▶ **econtext ASIA Ltd.**

決済事業香港法人



▶ **株式会社イーコンテクト**

国内最大級の現金系決済プロバイダー



▶ **ベリトランス株式会社**

国内最大級のカード決済プロバイダー



▶ **PT MIDTRANS** (Veritrans Indonesia 出資比率21.81%/非連結)

インドネシアの合弁決済プロバイダー

PT. Midtrans

▶ **Sendo Technology JSC** (出資比率 12.89%/出資先)

ベトナムのC2C、B2C向けオンラインマーケットプレイス



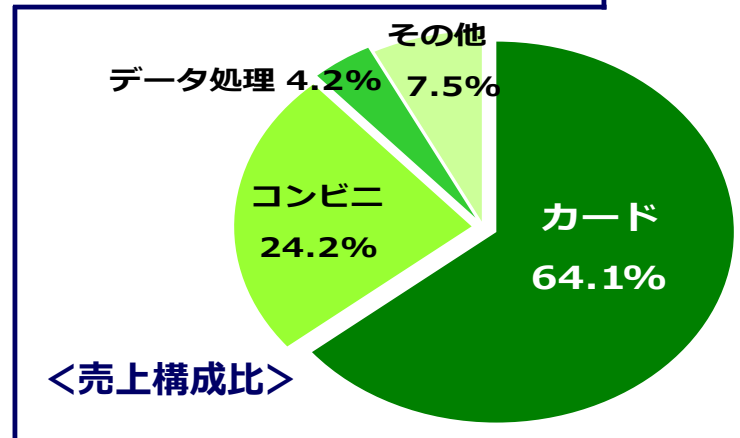
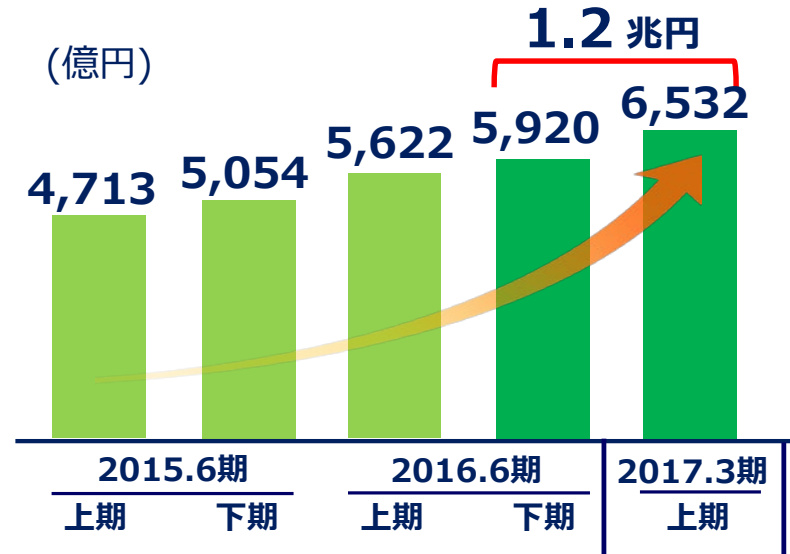
2016年7~12月の決済取扱高が初めて6,500億円を突破 営業利益は前年同期比12%の増益

< 決済事業のトラックレコード >

(億円)	15.6期 2Q累計	16.6期 2Q累計	17.3期 2Q累計	前年 同期比
取扱高	4,713	5,622	6,532	+16.2%
売上高	70.8	80.5	93.2	+15.9%
営業利益	5.9	8.4	9.4	+12.2%
償却費	4.1	4.1	4.4	
償却前営業利益	10.0	12.6	13.8	+10.2%
対売上高	14.2%	15.7%	14.9%	

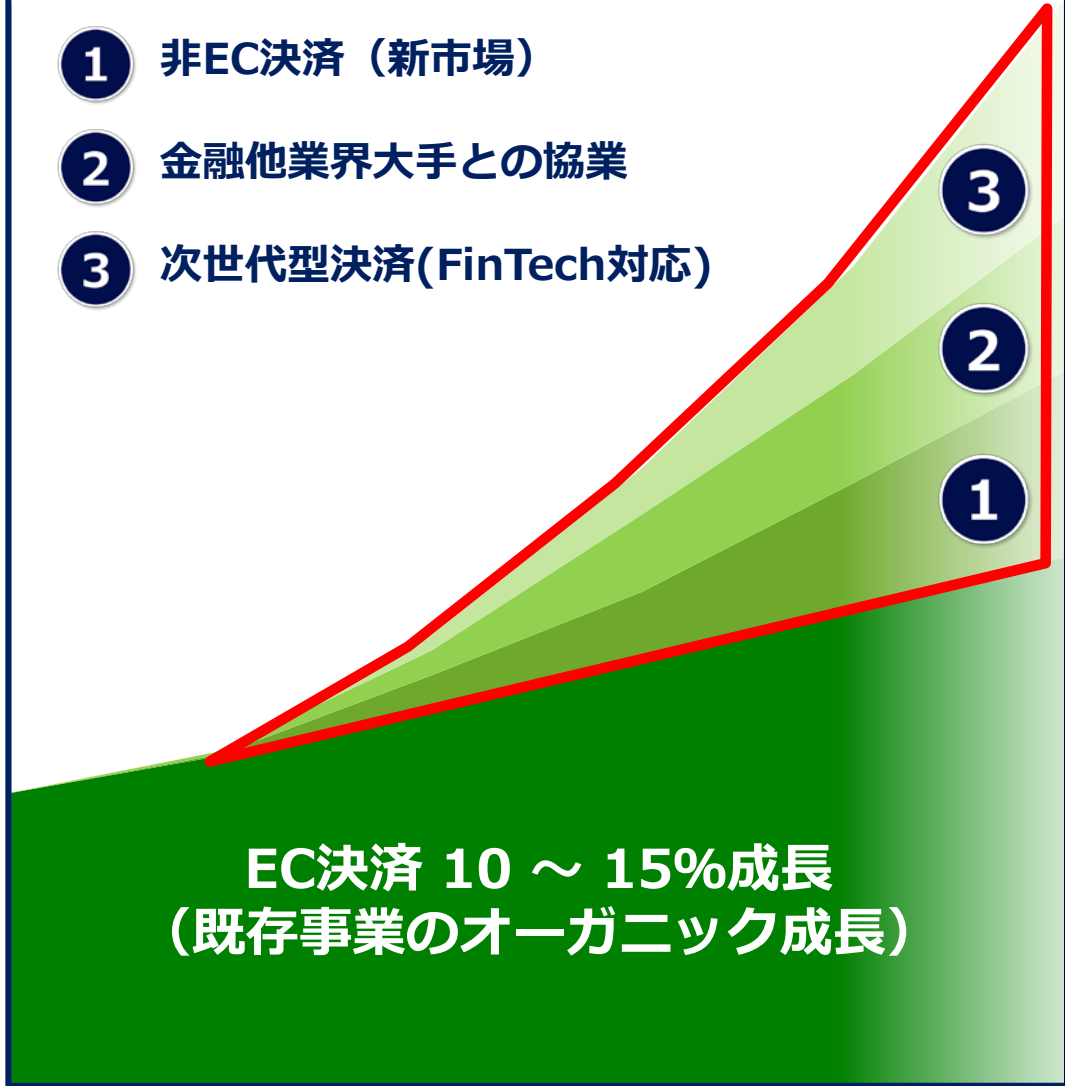
※償却費 = 減価償却費 + のれん償却費

< 2016年の年間取扱高は1.2兆円(前年比+16.6%) >



【今後の戦略領域】

- ① 非EC決済（新市場）
- ② 金融他業界大手との協業
- ③ 次世代型決済(FinTech対応)



15.6期実績 16.6期実績

20.3期

③ 【次世代型決済(FinTech対応)】

- ✓ ブロックチェーン活用ソリューション
- ✓ 金融スマートコントラクト
- ✓ DG Labと連携した実践的実証実験

② 【金融他業界大手との協業】

- ✓ りそな銀行、オリコカード等へ決済システムのOEM開始、融資事業等金融事業へ展開
- ✓ 大規模な顧客基盤を有する事業パートナーとの決済連携

① 【非EC決済（新市場）】

- ✓ 現在の展開分野と市場規模

- 飲食 (12兆円) → 
- 不動産賃貸 (9兆円) → 
- 葬儀 (1.7兆円) → 
- 教習所 (0.4兆円) → 

グローバル(アジア)展開

IV | メディアインキュベーションセグメント

	売上高	税引前利益
2016年6月期 2Q累計実績	-	1,194 百万円
2017年3月期 2Q累計実績	-	1,983 百万円
2017年3月期 計画	-	2,900 百万円

- ▶ **株式会社カカクコム** (出資比率20%/持分法適用会社)
価格比較サイト「価格.com」やグルメサイト「食べログ」の運営等

kakaku.com

- ▶ **株式会社DK Media** (出資比率50%/持分法適用会社)
講談社ファッション女性誌を活用したインターネットメディア事業

税引前利益

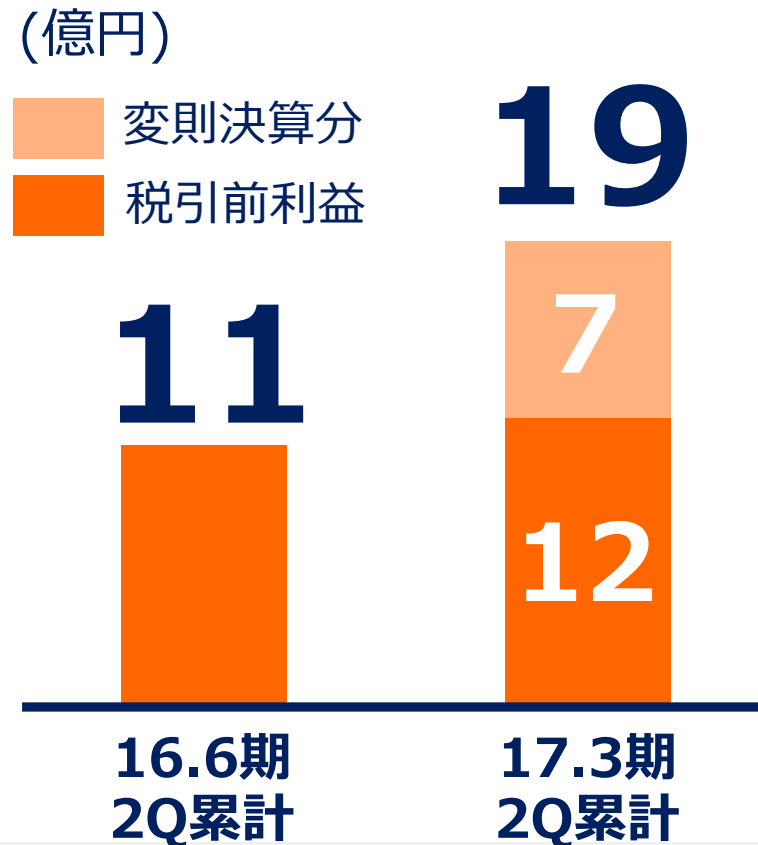
19 億円
前年同期比 **+66 %**

※ 決算期変更に伴う変則決算により、前年比較は、2016.6期 2Q累計と2017.3期 2Q累計の単純比較としております

2017.3期1Qは、カカクコム社の6ヶ月分(4-9月)の持分法投資利益を取り込んでおります

カカクコムの持分法投資利益が 順調に推移

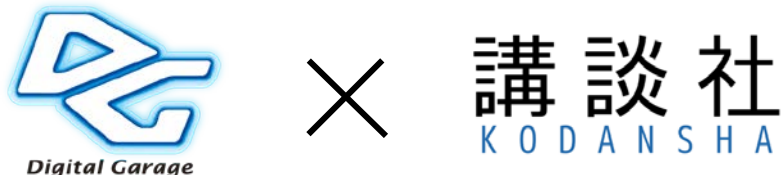
【税引前利益】



女性誌のコンテンツとAI技術を組み合わせたデジタルメディアを講談社と共同開発
 ～ 出版社が保有する良質なコンテンツストックから作り出すポストキュレーションメディア ～

< 講談社との合弁会社 DK Media >

< コンピレーションメディアの全体像 >



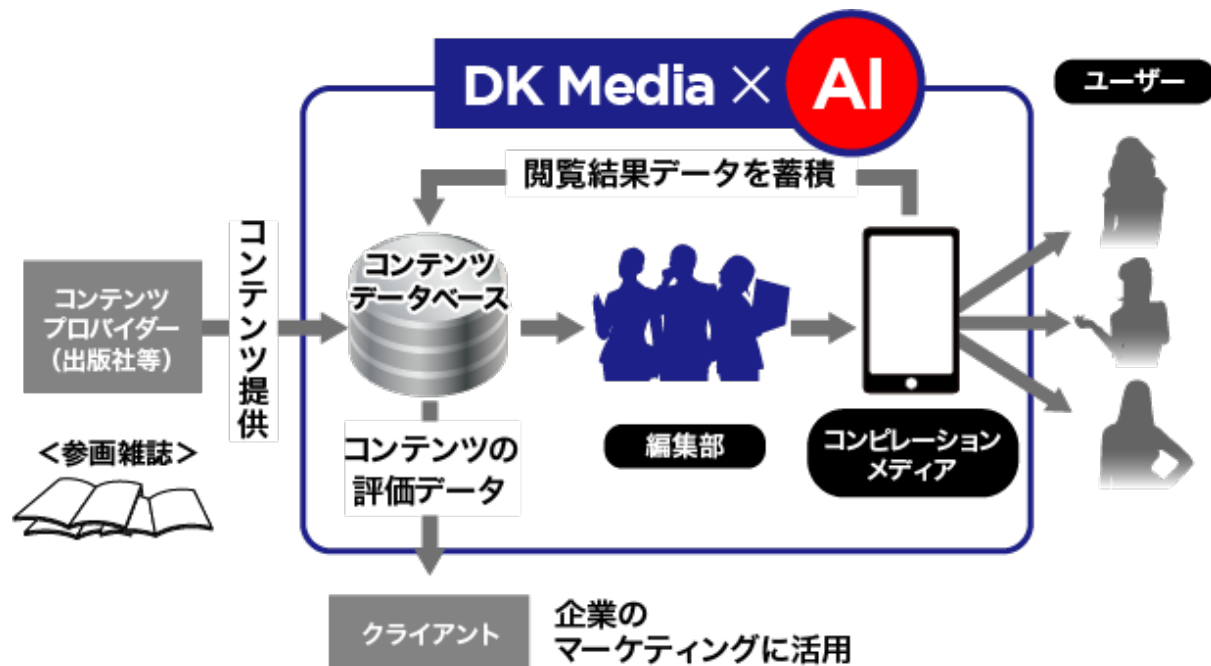
株式会社DK Media

講談社ファッション女性誌を
活用したインターネットメディア事業

2015年の資本業務提携以降、日本発コンテンツのグローバル展開及び次世代コンテンツ領域への投資を共同で推進

今回、提携第3弾として、ファッション女性誌を活用したインターネットメディア事業の合弁会社、株式会社DK Mediaを設立

Vivi with VoCE FRAU おとなスタイル



今後、有力出版社の参画を予定。コンソーシアム化へ

Appendix

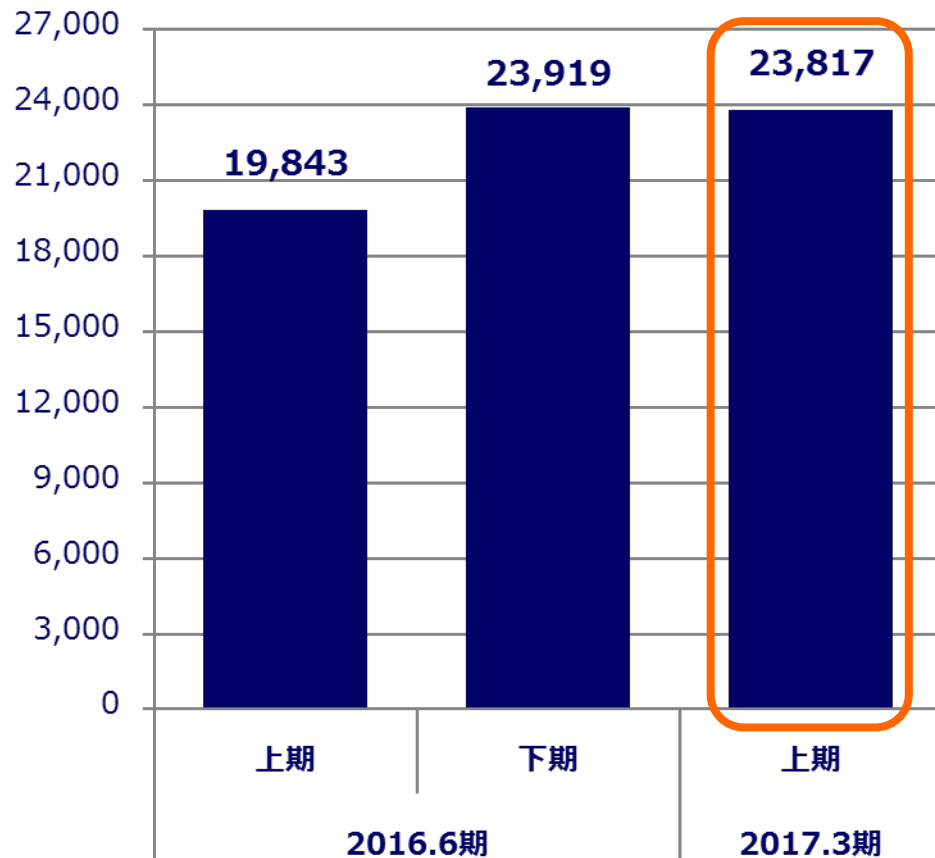


前年同期比20%増収、税引前利益同68%増の47億円

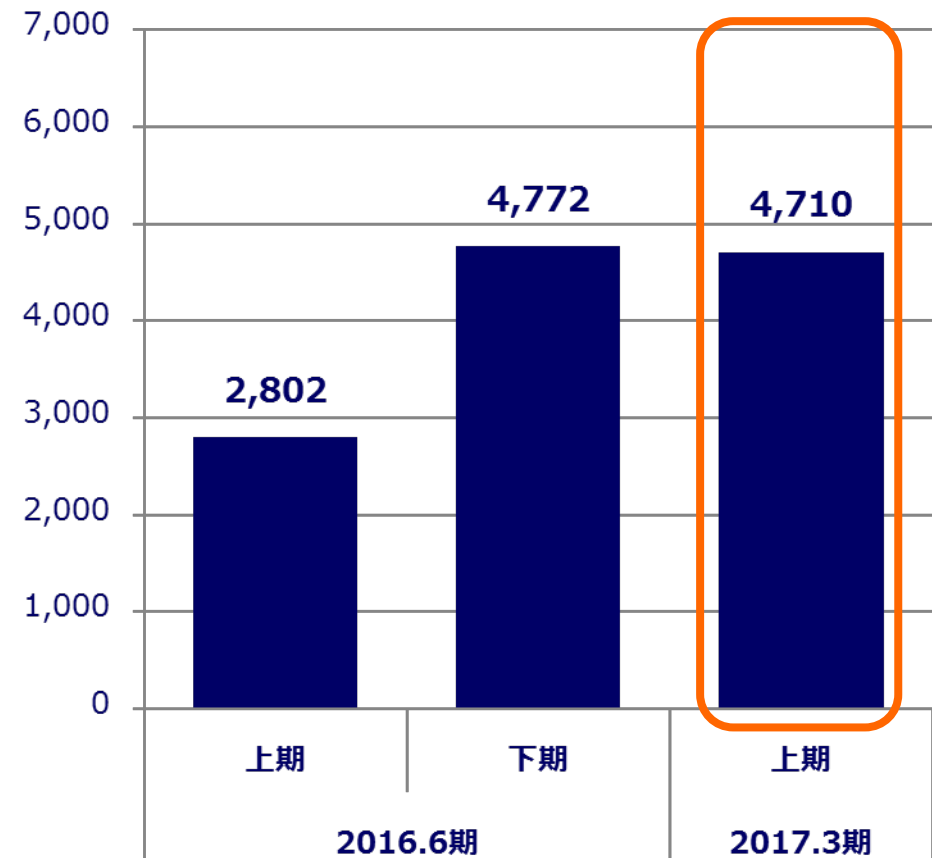
～ ITは大型Exitを実現、MT/FTは収益基盤が拡大 ～

【売上高】

(単位：百万円)



【税金等調整前当期純利益】

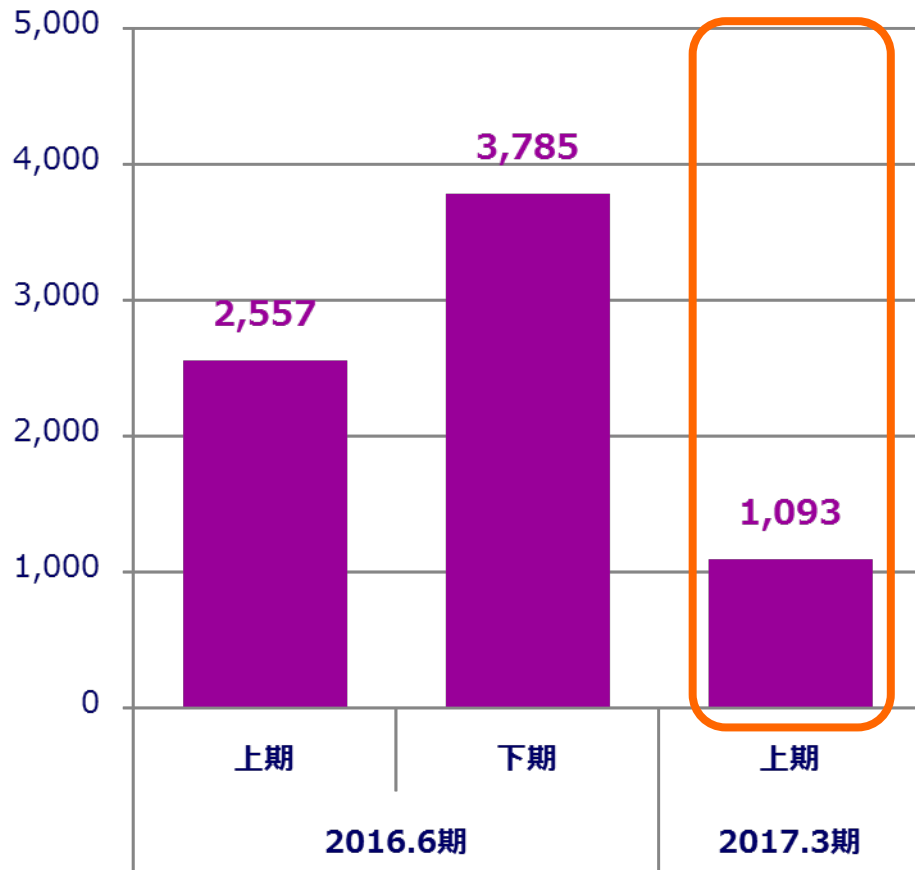


買収に伴う出資先の保有株式の売却で大幅増益

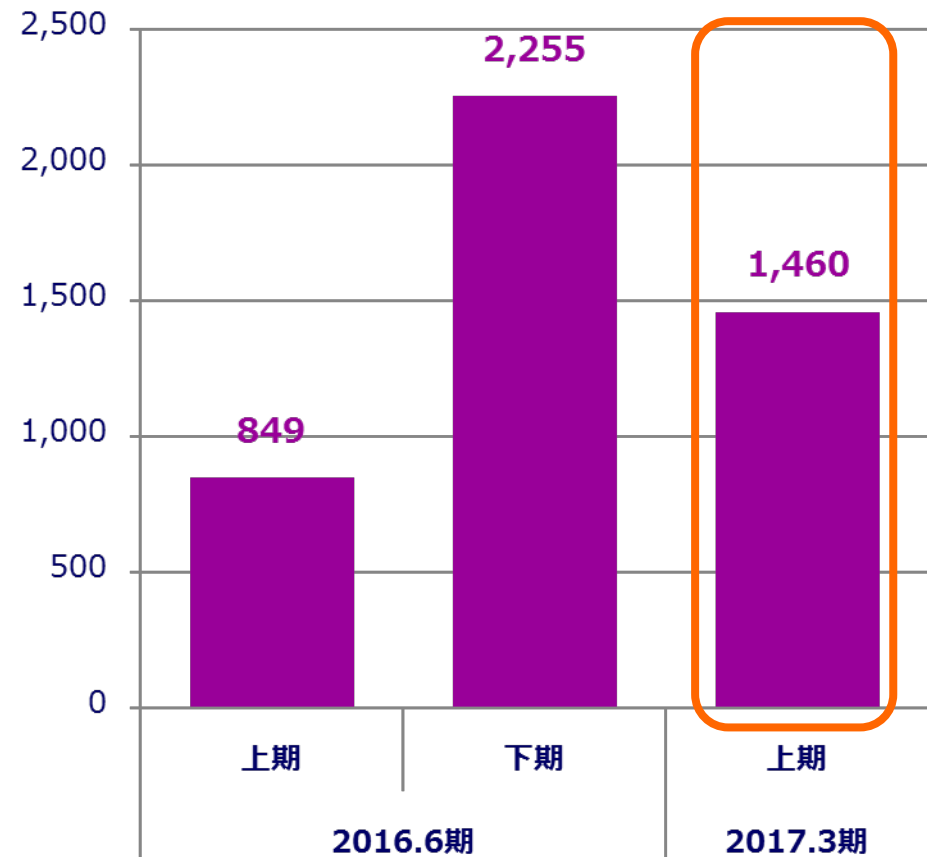
～ 国内外の投資ポートフォリオを拡充、投資残高は128億円まで拡大 ～

【売上高】

(単位：百万円)



【税金等調整前当期純利益】

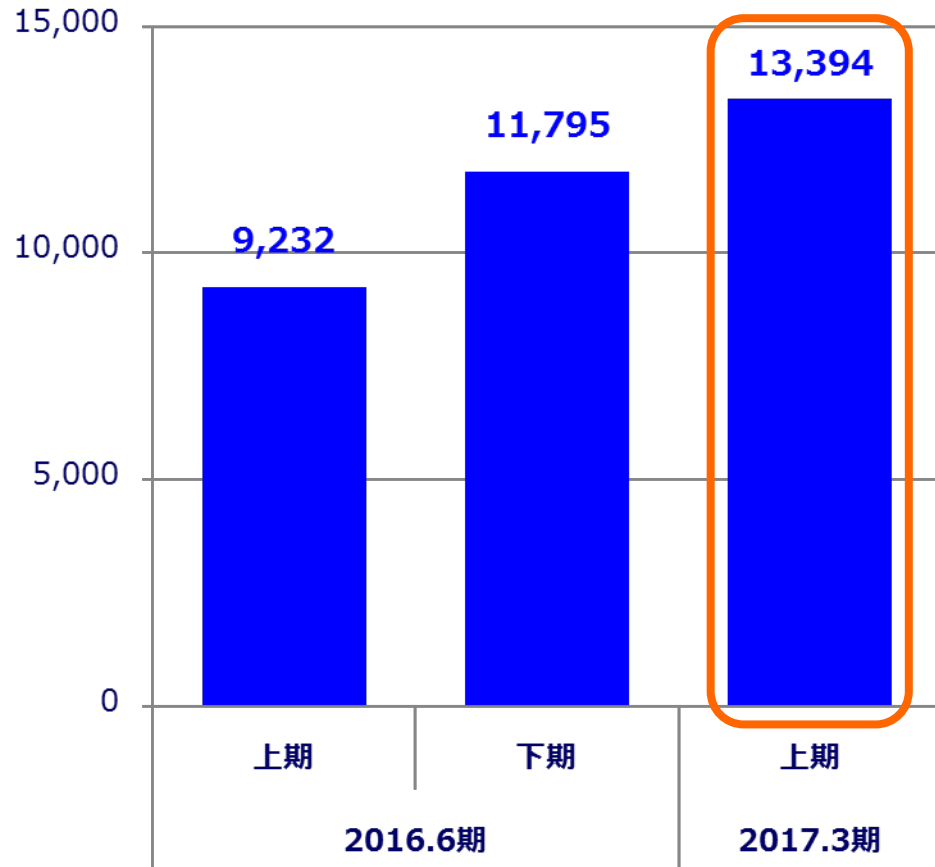


前年同期比約40%超の大幅増収増益を達成

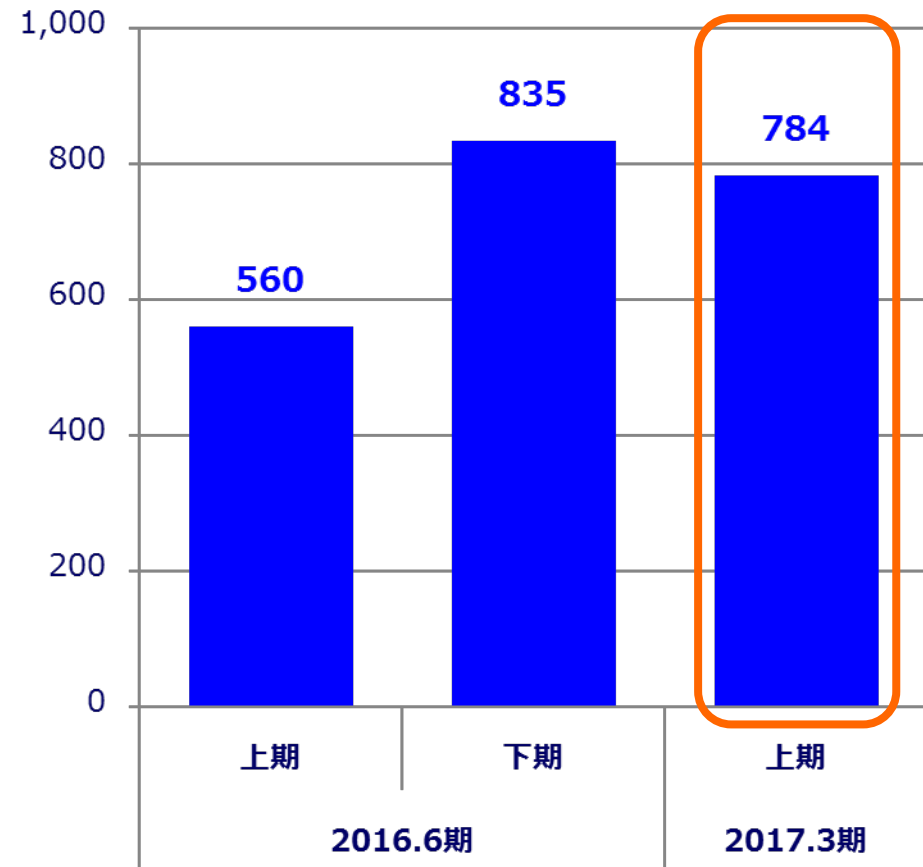
～ パフォーマンスアド領域が牽引、データサイエンス事業も好調に推移 ～

【売上高】

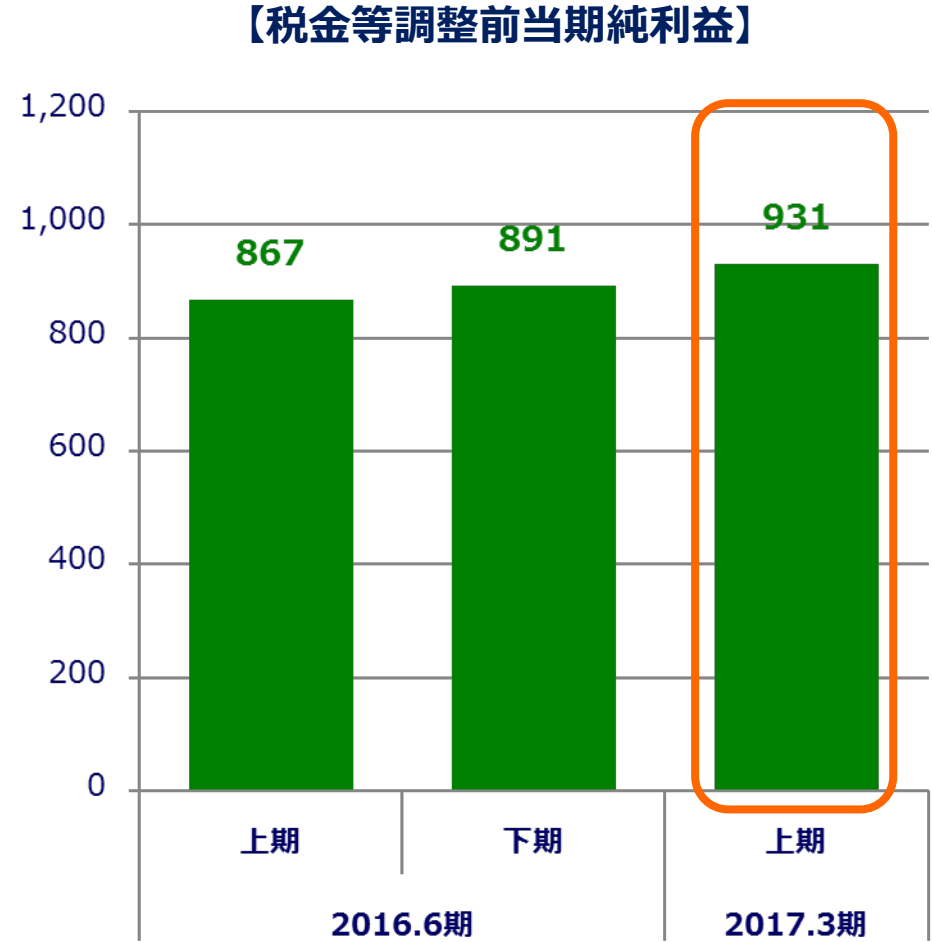
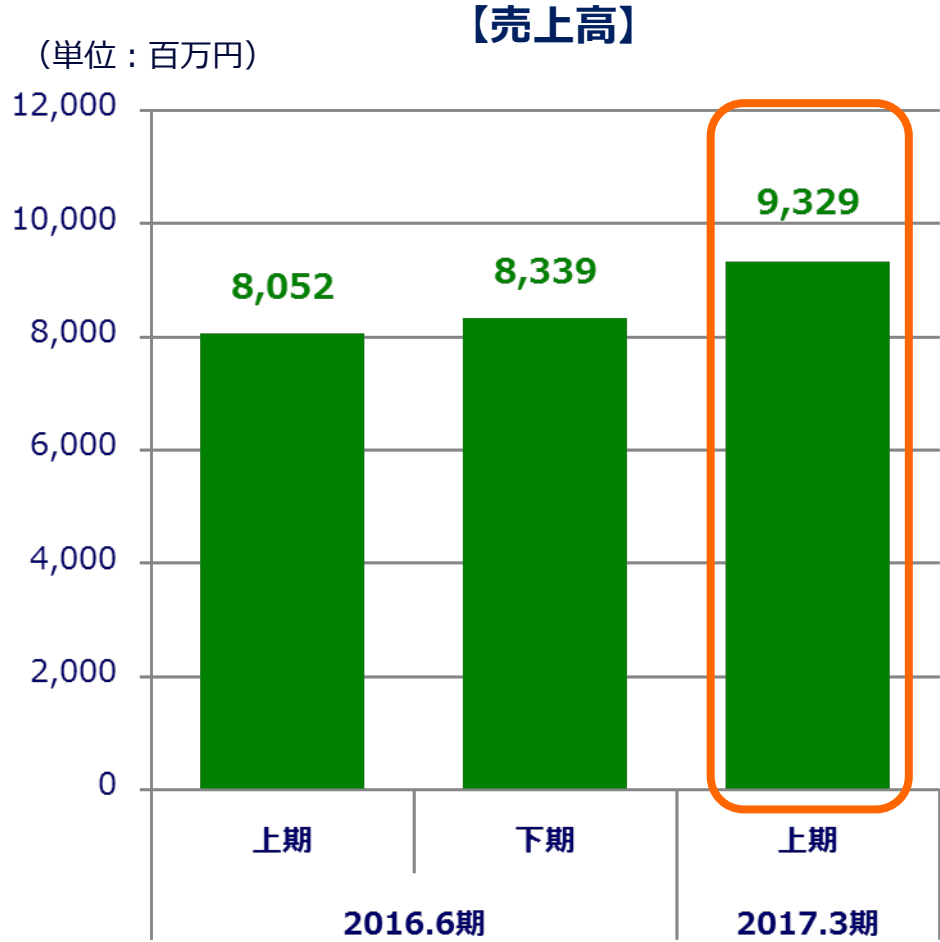
(単位：百万円)



【税金等調整前当期純利益】



決済取扱高が大幅に拡大、売上高は前年同期比16%増
～ インバウンド決済の拡大に加え、イベントチケット関連等のCtoC領域の決済が好調 ～

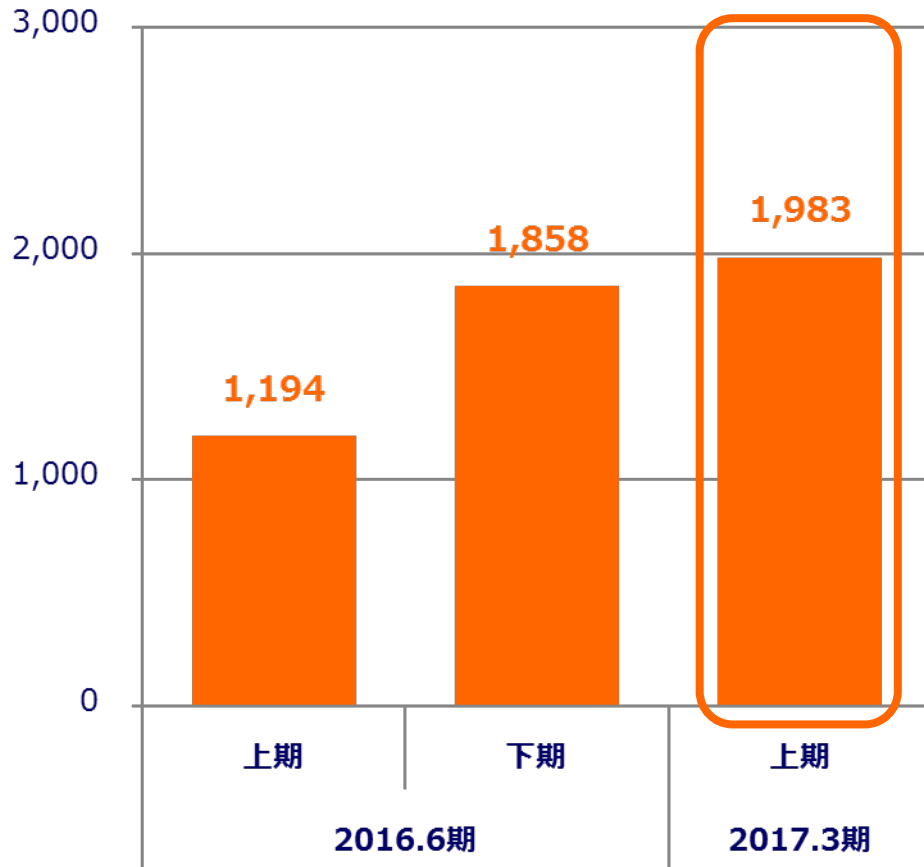


カカクコムの特分法投資利益が順調に推移

～ メディアを核に、インキュベーション事業を立ち上げ ～

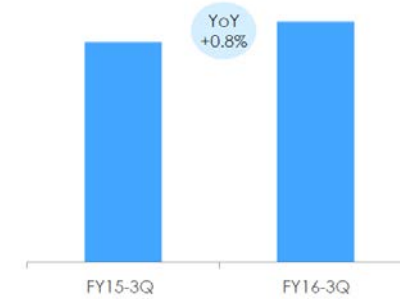
【税引前当期純利益】

(単位：百万円)



【消費財 流通総額成長率】

価格.com



(単位：万人)

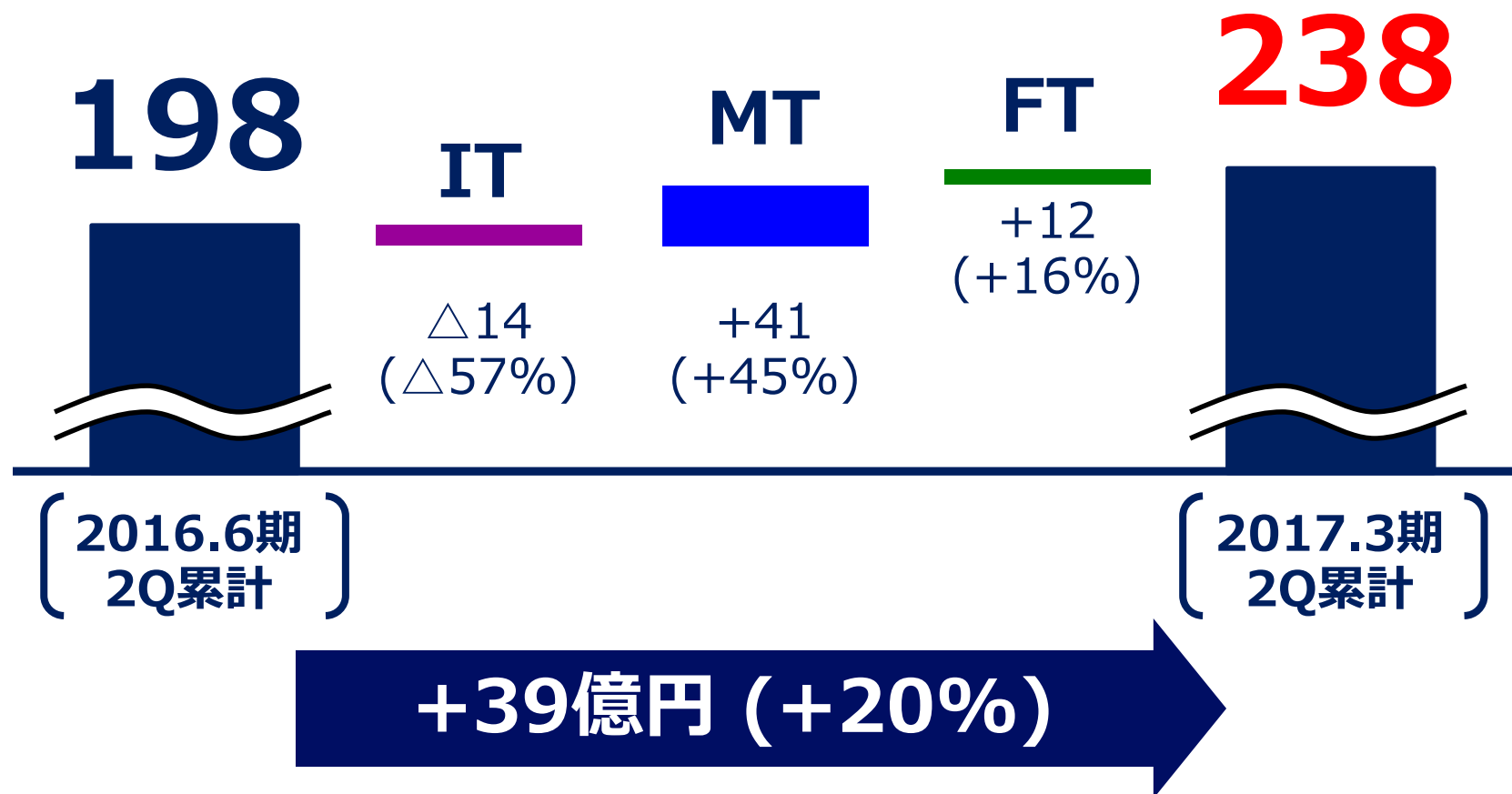
食べログ

【オンライン予約人数】

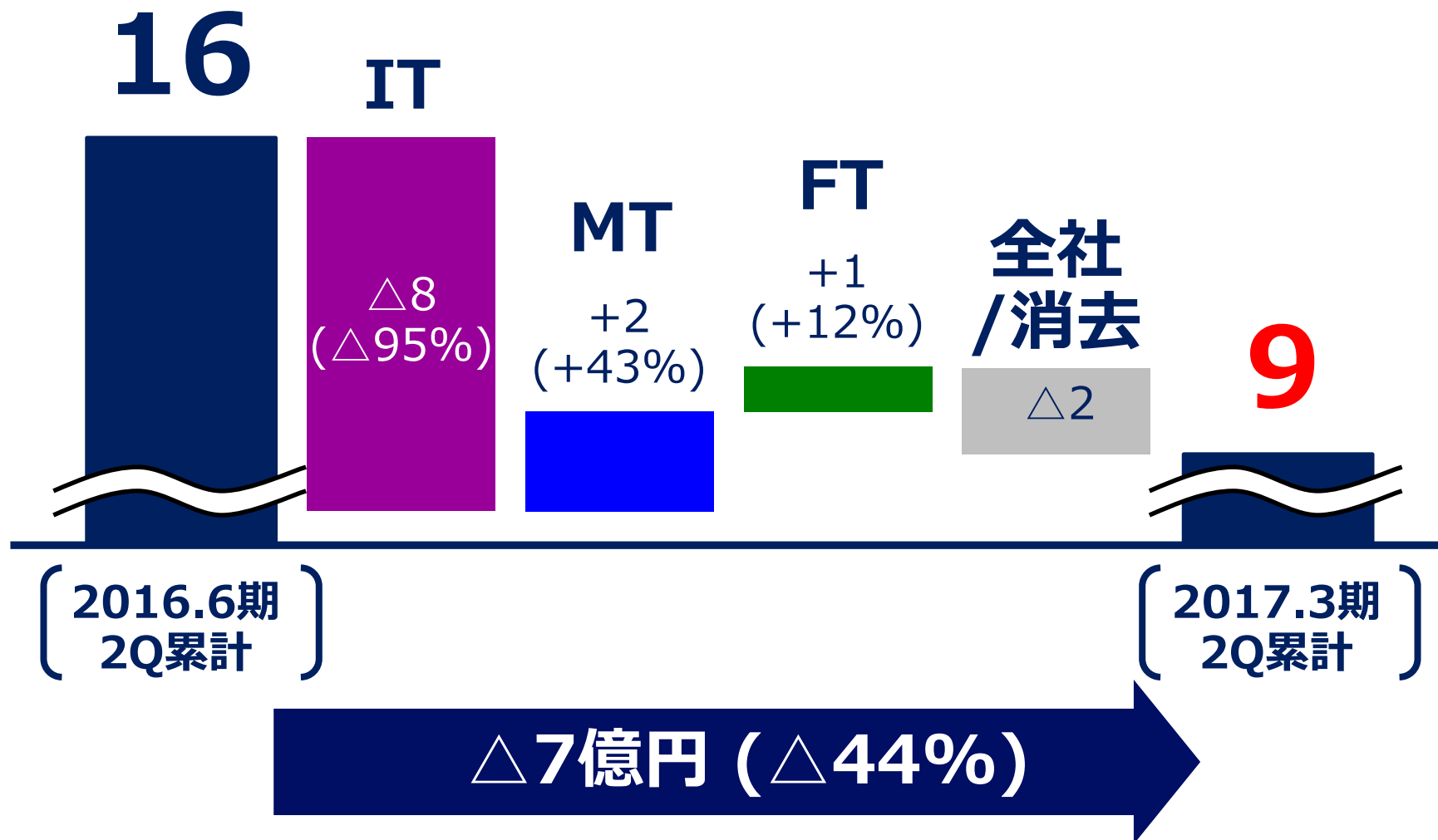


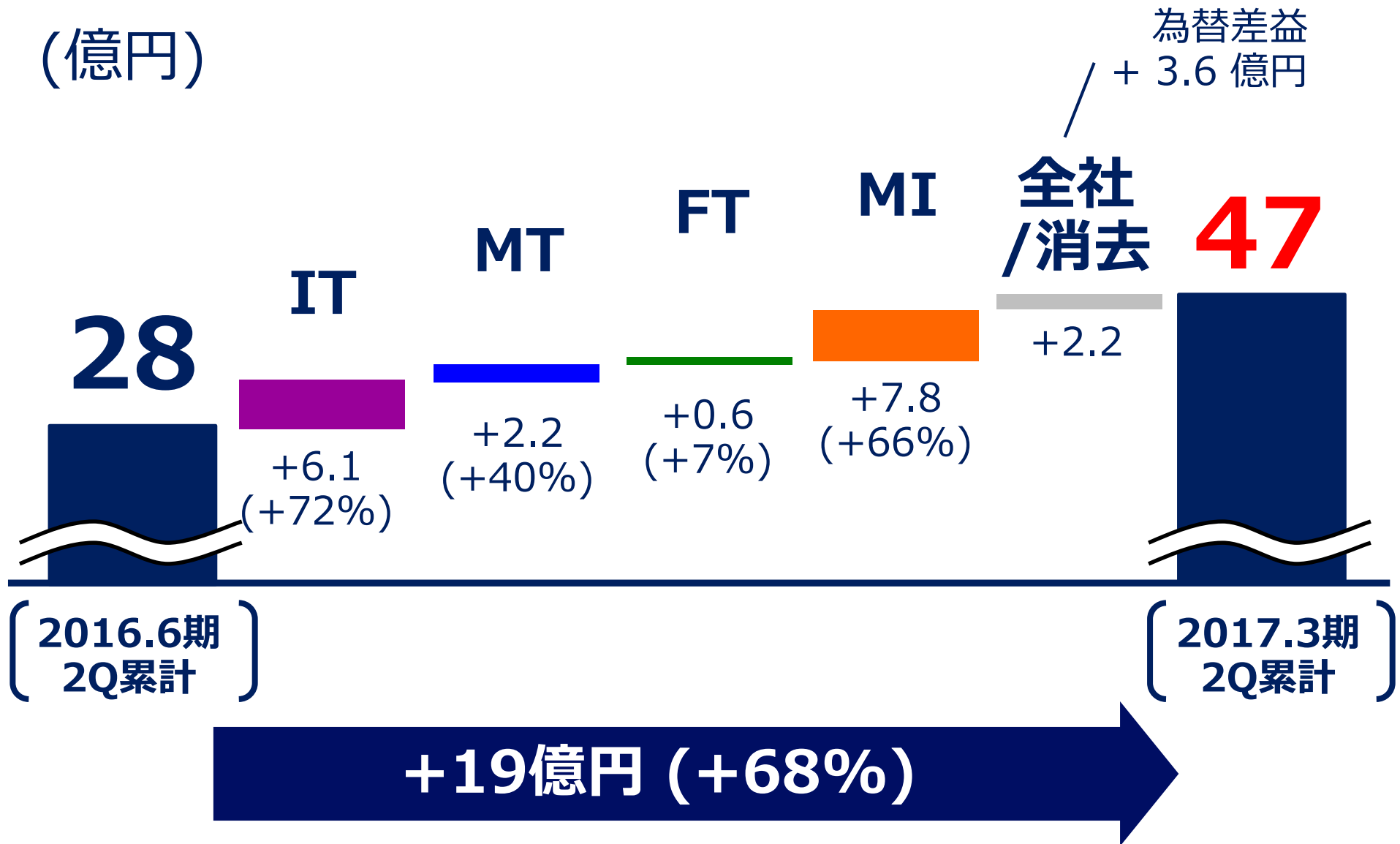
カカクコム社 2017年3月期3Q決算説明資料より

(億円)

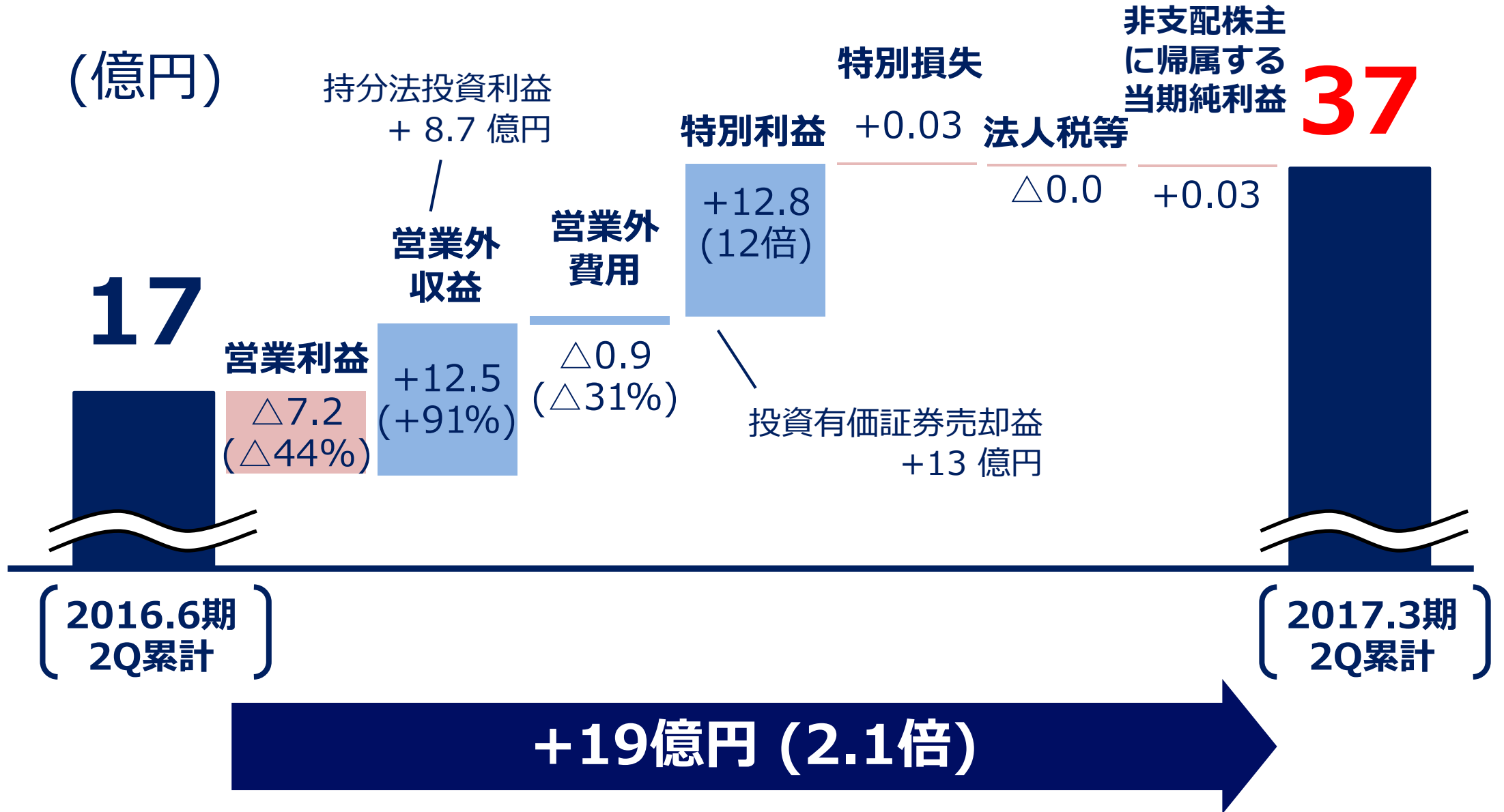


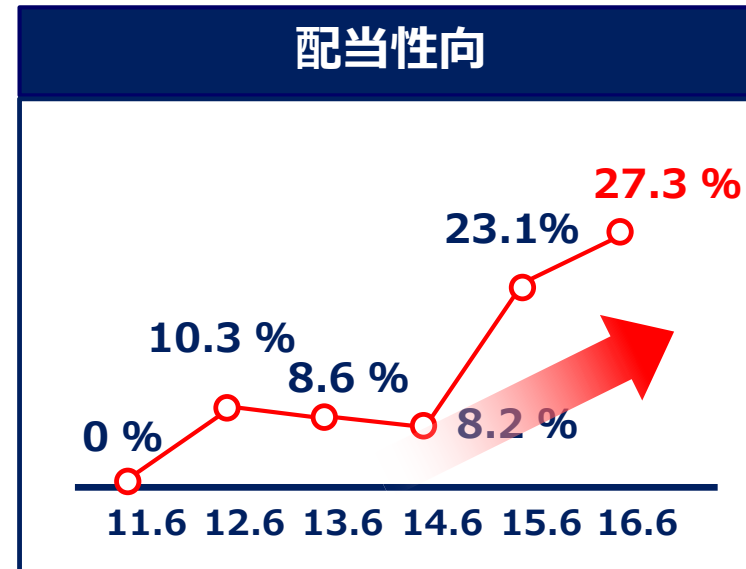
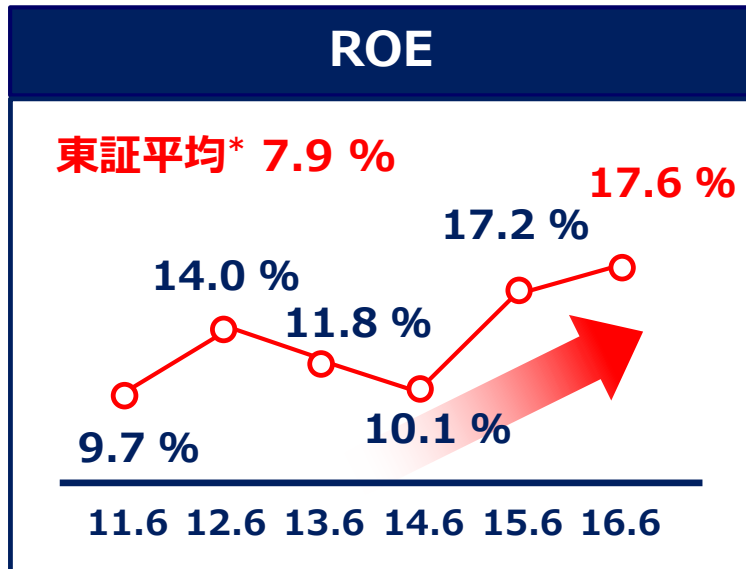
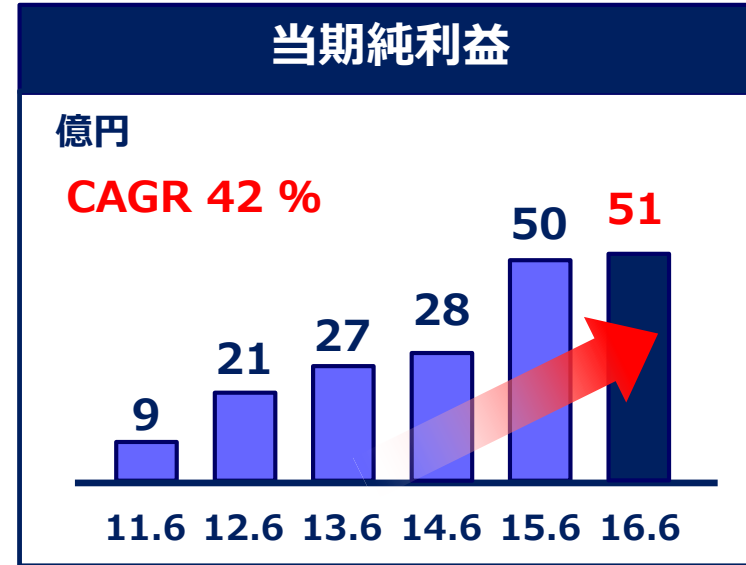
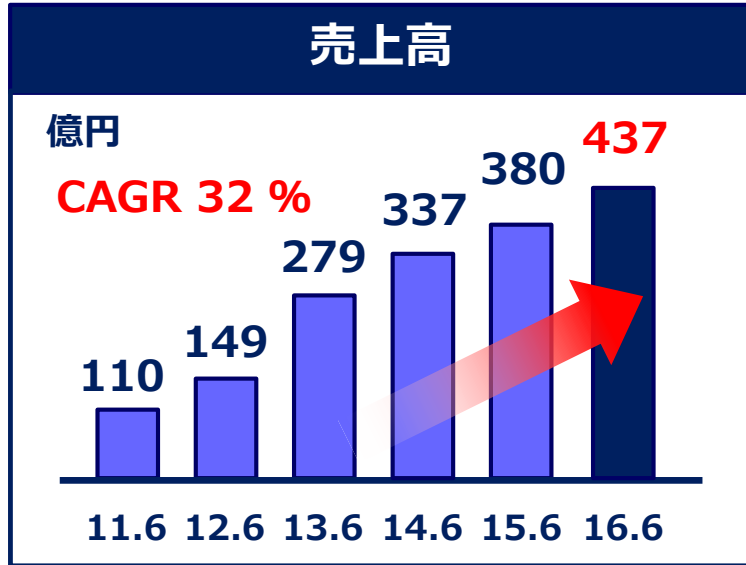
(億円)





◆ 親会社株主に帰属する当期純利益の増減要因





Note) * 東京証券取引所 2015年3月期決算短信集計 (市場第一部、市場第二部、JASDAQ、マザーズ)
15.6期以降は親会社株主に帰属する当期純利益で集計



四半期業績推移（連結）

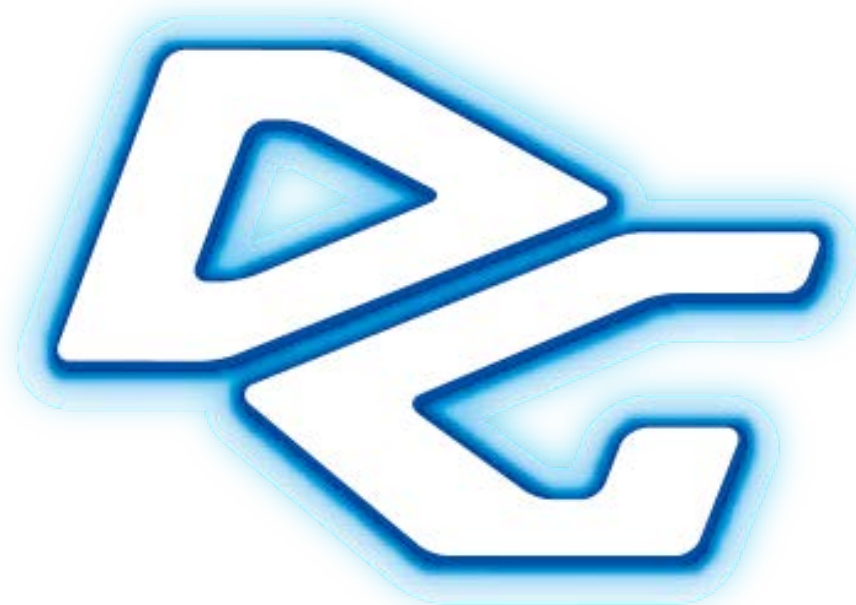
単位：百万円	2016.6期				2017.3期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	10,336	9,507	11,631	12,288	11,558	12,258
営業利益	1,425	201	1,477	1,097	412	493
経常利益	1,863	831	1,887	1,610	1,781	1,541
税金等調整前当期純利益	1,941	860	1,933	2,838	3,148	1,561
親会社株主に帰属する当期純利益	1,196	599	1,510	1,857	2,689	1,011

単位：百万円	2016.6期				2017.3期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	10,336	9,507	11,631	12,288	11,558	12,258
IT インキュベーションテクノロジー	1,899	657	1,863	1,921	496	596
MT マーケティングテクノロジー	4,502	4,730	5,648	6,147	6,550	6,843
FT フィナンシャルテクノロジー	3,934	4,118	4,119	4,219	4,511	4,818
MI メディアインキュベーション	-	-	-	-	-	-
税金等調整前当期純利益	1,941	860	1,933	2,838	3,148	1,561
IT インキュベーションテクノロジー	1,064	△ 215	879	1,376	1,340	119
MT マーケティングテクノロジー	247	313	386	448	368	415
FT フィナンシャルテクノロジー	413	453	440	451	468	462
MI メディアインキュベーション	627	566	683	1,174	1,292	691

Note: セグメント税金等調整前当期純利益は、セグメント間取引消去及び全社費用等控除前

リリース日		リリース内容
2017年2月9日	 Digital Garage	デジタルガレージ、オリコカードの会員優待ショッピングサイト「オリコモール」のスマートフォンアプリの提供を開始
2017年2月3日	 Digital Garage	デジタルガレージ、ブロックチェーン技術を手がけるBlockstream社と次世代プラットフォーム技術の共同開発について基本合意
2017年2月2日	 NaviPlus	「NaviPlusリタゲメール」にWeb接客機能を追加
2017年2月1日	 NaviPlus	サイト離脱ユーザー向けメール配信ASP「NaviPlusリタゲメール」がECサイト構築パッケージ「SI Web Shopping」と連携
2017年1月31日	 veritrans	ベリトランス、オンラインでのクレジットカード情報の非通過化と不正利用防止対策を講じた総合決済ソリューション群を展開
2017年1月26日	 Digital Garage	デジタルガレージと講談社、女性誌のコンテンツとAI技術を組み合わせたデジタルメディアを共同開発
2017年1月25日	 Digital Garage	オンラインメディアでも話題のハイパーリアリティ作品が日本初上陸 イガル・オゼリ展「Erasing Photography」明日より開催
2017年1月19日	 Digital Garage	台湾最大の共通ポイントサービス「HAPPY GO」会員に向けて国内初となるポイント優待型越境ECモールの提供を開始
2017年1月12日	 DG INCUBATION	デジタルガレージ、香港のスタートアップスタジオMind Fundに出資
2017年1月6日	 DG Lab	DG Lab、ブロックチェーンのコアデベロッパー育成を目的としたワークショップ「Blockchain Core Camp」(BC ²)を開催
2016年12月12日	 NaviPlus	ナビプラス、サイト内検索エンジン「NaviPlusサーチ」に検索結果を戦略的にコントロールするマーケティング機能を実装開始
2016年12月07日	 Digital Garage	デジタルガレージ、トヨタ自動車と協業し、未来のモビリティ社会を創造するオープンイノベーションプログラム「TOYOTA NEXT」の運営を支援
2016年11月28日	 BI.GARAGE	BI.GarageのDMP「BIG MINING」がTwitterの「Targeting API」と連携開始
2016年10月27日	 veritrans	全日空商事とベリトランス、フィンテックを活用した法人向け決済ソリューション事業の合併会社「ANA Digital Gate株式会社」を設立
2016年10月19日	 Digital Garage	デジタルガレージとDG Lab、「THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2016 SAN FRANCISCO」を開催

リリース日		リリース内容
2016年10月5日	 NaviPlus	ナビプラス、ストライプインターナショナルのファッションEC『KOE』に 越境ECソリューション「BuySmartJapan」を提供開始
2016年10月4日	 econtext	イーコンテクト、スーパーやドラッグストア等でのペーパーレス 決済サービス「Biz@gent」を他社に先駆けて提供開始
2016年10月3日	 econtext	イーコンテクト、カカクコム、郵便局物販サービスが共同運営する ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとぷらす」が本格稼働
2016年9月30日	 Digital Garage	デジタルガレージ、ゲームアプリのリテンション施策を支援する セグメント別LINE配信サービス「CONNECT BAY for Game Apps」を提供
2016年9月20日	 veritrans	ベリトランスのApple Payへの対応開始について
2016年9月16日	 Digital Garage	DG Labと電通サイエンスジャム、脳波による感性分析とリアルタイム動画生成を組み合わせた VRコンテンツ「カレイドセラピー」を開発
2016年9月6日	 NaviPlus	ナビプラス、越境 EC ソリューション「BuySmartJapan」を千趣会が運営する『ベルメゾンネット』に提供開始
2016年8月26日	 Digital Garage	デジタルガレージ、インバウンド消費を促進する店頭デジタル施策を ココカラファインヘルスケアの免税実施全店舗へ拡大
2016年8月24日	 Digital Garage	デジタルガレージとTISが、FinTech関連事業の開発などに向けた 戦略技術開発会社「DG Technologies」を設立
2016年8月9日	 veritrans	ベリトランスのマルチ決済プラットフォームにおける「データセンター完全二重化」を日本オラクルとTISが支援へ
2016年8月8日	 Digital Garage	インバウンド消費の拡大を狙う自治体や企業を支援！ 訪日外国人に向けたオリジナル観光ガイドアプリの構築サービスの提供を開始
2016年8月4日	 NaviPlus	ナビプラスの「NaviPlusレコメンド」と ウェブ接客プラットフォーム「KARTE」が連携を開始
2016年7月25日	 econtext	業界初、バス予約・支払い・乗車がスマホアプリで完結 アイリッジとイーコンテクト、アプリ決済「BUS PAY」提供開始
2016年7月22日	 Digital Garage	デジタルガレージと大和証券グループ、次世代技術を有する スタートアップ企業に向けた「DG Labファンド」を組成
2016年7月19日	 econtext	イーコンテクト、BIGLOBEの新規契約者向けキャッシュバック キャンペーンに、送金サービス「CASH POST」を提供
2016年7月4日	 Digital Garage	デジタルガレージ、カカクコム、クレディセゾン、オープンイノベーション型の研究開発組織「DG Lab」を設立



Digital Garage

本資料に記載された今後の見通し、戦略などは現在の弊社の判断であり、様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。この文書は、投資家向け説明資料として一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。また、この文書は、米国その他証券の売付けまたは買付けの勧誘を行うにあたり証券法の登録または資格要件の充足が必要となる地域における証券の売付けまたは買付けの勧誘を構成するものではありません。当社又は当社連結子会社の証券いかなる証券も米国の1933年証券取引法（以下「1933年米国証券法」といいます。）に基づいた登録がなされておらず、1933年米国証券法に基づく登録を行うか、または登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の売付けまたは勧誘を行うことはできません。米国において証券の公募を行う場合には、公募を行う会社およびその経営陣ならびに財務諸表に関する情報を記載した目論見書によって行うこととなります。